

京古本や往来

隨筆 錦絵の功用

徳力富吉郎

御承知の様に、錦絵と言うのは、色刷木版画の事である。大正十年頃に版画と言う新造語が出来たのは、日本の色刷木版画は、錦絵と呼ばれていた。

是等の浮世絵（風景をも含めて）を描く画家達は、皆眼前の美人や役者や、景色をスケッチして是れを画としたのであった。

それ迄の日本の絵は、大体、師匠の画を写す事から、絵を描き始めたので、師匠の描く、道釈人物や、中国山水は描き得ても、町を歩く娘の美くしさも、舞台の役者の二枚目の美くしさも、美くしい景色も、見てい乍らも、描けなかつたのであった。

中国の色刷木版が、長崎に入港の中国の船に依って持ち込まれ、それが江戸に伝わって来て、人々の感嘆となり、江戸の文化人達が寄つて、種々に夫研究され、ようやく日本独自の色刷版画技法が生まれ、鈴木春信画く彩色の美人画が、日本独自の見当法に依って、美くしい色刷木版となり。江戸の人々は、是れを織物の錦にもまぎるとして、錦絵と言う名をつけた。

爾来錦絵は、発展して、美人画の歌麿・清長から、役者画の春章・豊国、又は、風景の北齋・広重に到る迄、錦画全盛を極めたのである。

浮世絵の作者は、必用の上から、目に見る女や、役者や、景色を、其のまゝ、写生して描いたのである。つまり、浮世絵に到つて、始めて画はリアルになったのである。勿論、一部には、リアルな作家も以前には居たが、総てではなかつたのである。

季刊
第19号
京都古書研究会
発行

千604 京都市中京区上ル
東洞院六条角業協同内
京都府古書籍商組合32
林 京 都 2 2 5 料 1 0 円
年間購読料 (送料込) 15 0 円
頒 価 1 5 0 円

似画は、リアルではあつたが、一部の人々だけであつた。浮世絵に到つて、始めて、日本の絵画は、リアルに位置づけされたのであつた。

そして、一方、版画の技の普及性と相まって、日本の絵画は、リアルの本道を歩み初めたのであつた。



賀正 元旦

徳力富吉郎作 賀状

売出すと同時に、二百枚の初版が昼頃迄に売りつくされたとの話も伝わっている。

人々は、新しい観点から見た、東海道の景色を見て、行つた事のある人は、なつかしさを感ぜ、未見の人は、行つて見たい気分にかられたのであつた。江戸の人々は皆東海道の版画を見て旅に出かけたと言つても過言ではない。

江戸へ来た人々は亦、土産に、東海道五十三次を国に買って帰つた。今関西地方の各地に、沢山の広重の東海道が蔵されている。私が保育社版の「東海道昔と今」を書いた時、和歌山県御坊市の初版本を撮影に行つたら、撮影中に

広重の東海道五十三次続き絵は、今迄の中国スタイル山水とは全くちがつた画風で、旅の哀感を余す所無く描いたので、人々はこぞって是れを入手しようとして、其の初版二百枚が売出される当日は、版元の家の前には、人垣が出来、

近所の人々がそれを見に來られて、是れなら私の家にもあると言う人が、軒もあつたには、おどろいたが、よく聞くと、此の村は、昔各自千石船を所有していて、江戸と交通し、土産に五十三次を皆持つて帰つたのであつた。かくして

謹賀新年 京都古書研究会加盟店

- 赤尾照文堂 中京区河原町通六条下ル 電話二二一五八八
- 石川古本店 左京区一乗寺の南24の12 電話七一一一五二〇九
- 井上書店 左京区田中町一〇一三三二 電話七八七〇
- キク才書店 中京区河原町通三条上ル 電話三三二七六三四
- 其田中堂 中京区河原町通三条上 電話二二一九七一
- 沢田書店 上京区馬場通今川上ル 電話四五一〇五三三
- 三密堂書店 下京区寺町通三上ル 電話三五一九六六三
- 出町と衣笠善書堂 衣笠店 電話四六二一三七七 出町店 電話二一七三七
- 大岡書堂 中京区寺町通小路上ル 電話二二一〇六八五
- 竹岡書店 左京区京橋通六天徳五五四 電話七六一二四五四
- 谷方書店 下京区七条通河川角 電話三六一七六九五
- 東山書店 北下京区山下内所前53 電話四一三三〇七一
- 外山書房 左京区北白川久保町64の5 電話七〇一六九二七
- 萩屋書店 上京区区民丸上御堂前下ル 電話三一一三二七二
- 藤井文政堂 左京区田中町通前町56 電話七七八一三三六
- 藤原北御所書房 上京区今出川通り寺町西九八 電話三三三三三三三
- 文苑堂書店 中京区寺町通り丸上上ル 電話四一三二八八
- 文藻堂 中京区新橋丸通竹屋町上ル 電話三三一一四七四
- 八木書店古書部 中京区丸太町一四一四 電話八一三三九〇
- 山崎書店 伏見区京町通丸太町22 電話三三一一四七四
- 臨川書店大阪店 大阪府北区芝田町一丁目二番二号 電話〇六二五八四一

近世京都の本屋

(五)

宗政五十緒

十八 田中庄兵衛と蕪村

寺町五条上る町の本屋、汲古堂（汲古斎・章和堂）、田中庄兵衛（莊兵衛とも称する）の店は寛文・延宝頃から文化年間にかけて出版活動を行っていた。天明期の当主は俳諧の嗜みもあつた人、与謝蕪村の門人である。佳案（かとう）と号する。蕪村は天明三年（一七八三）の暮れもおしつまつた十二月二十五日に京都で病没したが、その翌年、四年十二月に彼の発句を弟子の几董（きどう）が一書に編んで『蕪村句集』前編二巻として、この田中庄兵衛の店から出版した。蕪村の一周忌の刊行書であり、後編は近刊予告がなされながら出版されず、前編のみで通行している。序文を撰った江戸の雪中庵蓼太は蕪村五十余年の友、その全文を掲げよう。

洛、夜半亭蕪村老人、とし頃、海に對し、山に嘯き、花に眠り、鳥に寝覚めて、句を吐く事十万八十、その秀でたるものは人の耳底にとどまり、諸集にはあらはる。惜しむべし去年の冬、衰病終に夜台に枕して一字不説、高弟几董、頓（やが）て金婆羅華

を伝えて、門人のため一集を撰び、書肆佳業に力をあはせて、今年、小祥忌辰の永暮とす。はた、予と亡交と交り久しきままだ、遥かに武江に告げてそれが序を需（もと）む。

予又わずれめや旧識五十余年。雪中庵 蓼太

この書は板下も几董の筆である。発句八百六十八を四季に分けて配列する。蕪村の発句はこの書によって広く知られる。蕪村は南画家として有名な人である。南画ではその画題として梅花を描くことが多い。彼の発句にも梅を吟じたものが多い。『句集』からその五、六を引いておこう。

梅散りてさびし成りし柳かな
白梅や墨芳しき鴻鶴館（こうろ）
（かん）
しら梅や北野の茶店に相撰取
うめ散るや螺鈿（らでん）
（すまひとり）
梅咲いて帯買ふ室（むろ）
の遊女かな
梅遠近南すべく北すべく

さて、天明頃の京都で、俳書の出版店として盛んであつたのは橘屋治兵衛と菊屋太兵衛の二軒である。菊屋太兵衛は俳号を其成といつて、彼もまた蕪村の門人であつた。この二店に比べると田中庄兵衛の店は俳書のみならず出版全体、その活動はずつと低い。この頃は蕪村門の人々の撰書・編書をなしている程度、天明頃の刊行俳書の書名を掲げておこう。

○天明元年 風状編
きさきさかづき 一冊 竹亭著
新改正をだまき二冊
○天明六年 芭蕉其角嵐雪 点印論 一冊
几董編

附合てびき蔓 一冊 几董編
（佳業の跋文がある）
○天明七年 桃青二十哥仙 二冊 暁台編
つましるし 一冊 蘭芝編

統一夜四哥仙 一冊 几董編
○寛政三年 俳諧秘事満津毛 一冊 古音著

蕪村七部集の一つである『花鳥篇』には佳業の一座した連句歌仙一卷が載っている。宗因の句を立句として巻かれたもので、その表六句は――

ほととぎすいかに鬼神もたしかに聞け 宗因
ましてや間近き夕立ちの雲 蕪村
江を襟の山ふところに舟寄せて

（一頁より）
江戸の錦絵は日本中にひろまったのである。

そして今迄の中国スタイルの水（人々は是れを芋山水と言つていやがった）は、人々の関心から離れて行き、直接のスケッチを基とした広重の東海道は人々の心を捉えて、はなさなかつたのである。此処に到つて自然と、絵画との直結が初めて行なわれたのであつた。此の事は徳川末期から行われ、そして明治初年の洋風の輸入、油彩画、水彩画の輸入と続き、人々は、絵画の本道をようやく会得したのであつた。

狩野派の人々は、徳川家の批護に依つて永い間此の世の春を歌っている内に、庶民の中から突然生れた新画風が、とつて変つたのであつた。

そして、版画の普及性と、新自
又や通辞の袖ひかへつつ 几董
百池
薬種干す匂ひ残りて月夕々 佳案
蔵かと思ゆる露の家造り 金堂

然主義とが、日本中を駆けめぐつて、明治の新芸術発展の下ごしらえをした事の効力は大きい。

此の下準備のもとに、明治の絵画が世に出たのである。浮世絵版面の普及こそ、新絵画の機運のきっかけである。

文展や、院展や、二科会の運動に全国の人々が集まつたのも、浮世絵版画の日本国内普及を先づ其の下地と見る事は出来ないであらうか。そして、明治の開花となつたと考えたいのであるが如何でしようか。（氣まぐれに続く）

京都在住版画家 西本願寺絵所預
明治35年生、絵画専門学校卒
土田麦僊塾に入り、後『大衆版画』等を発行。関西創作版画界の重鎮
主な作品及び著書『富士三十六景』『聖地史蹟名勝版画集』『版画隨筆』

だから、(2)ならば汲古堂までは約一キロ、十丁ほどの場所であるから、その距離は眼と鼻の間とはいえないものの、程近かつた。弟子の佳業には蕪村も自家の内証のことをも打明けるほどの間柄であつたようで、次の手紙などはその間の事情を窺わせるに足るものであらう。

蕪村の住居は『平安人物志』によると……
(1)明和五年版には画家の部に、「四条鳥丸東へ人町」、
(2)安永四年・天明二年版には画家の部に、「仏光寺鳥丸西へ人町」、無

い、かかる身振り致し候得とも、（注、ここに柄杓を振上げ、無

間の鐘を打つ様子の画あり）其かねここにといふ人なきを恨み候。されども此書、只も見過ごしがたく候。二軒茶屋中村屋へと出かけ申すべく候。いづれ御出馬下さるべく候。是非、是非、以上。

廿七日

佳棠福人

蕪村

蕪村は年末に金が無いことを『むらかな盛衰記』を使って本屋の主人の佳棠に訴えているわけである。相手を「福人」と称しているところがほほえましい。雪見に祇園の二軒茶屋、中村屋に出かけるから、先方で会おうといっているわけである。風流とはこのようなもの、といったところであろう。

蕪村は本職が南画家であったから、諸方から画の注文が数々あった。女弟子の小糸も彼に、着物に山水を描いてくれと頼んでいる。蕪村は小糸のことならば何でも否とは云わぬけれども、それはあまりにも悪物好きじゃと伝えてほしいと、佳棠に宛てた手紙の中で述べている。
扱も御物遣、罷り過ぎ候。いか御暮し成され候や、御起居うけ給りたく候。まこと先日結構なる御菓子御めぐみ下されかたじけなき御事に御座候。それよりして御目にかからず御礼も申しおくれ候。

一、小糸かたより申こし候は、白ねりのあはせに山水を画き候様にとの事に御座候。これは悲しき物好きと存じ候。我等書き候ては殊の外きたなくなり候て、美人には取合せ甚だ悲しく候。やはり梅亭然るべく候。梅亭は毎度、美人衣服に書き覚え候ゆえ、模様取り旁、甚だよろしく候。小糸、右の道理を知らずしての物好きと存せられ候。我等画きたるを見候はば、却つて小糸後悔致すべく、気の毒に候。小糸事に候ゆへ、何を頼み候ても否とは申さず候へども、物好き悲しく候ては西施に黠（イレズミ）いたす様なる物にて、美人の形容、見劣り申すべくといははしく候。二、三日中に右あはせ仕立て候て持たせ遣候よし申遣し候。どふぞ小糸に御逢成され候て、とくと御申聞かせ下さるべく候。縷縷、筆談に尽し難く候。何事も貴顔御物語と申残し候。以上。

五月廿六日

返す返す小糸求めならば、此方より望み候ても画き申したき物に候。右の外の画ならば何なりとも申遣はし候様、御申伝へ下さるべく候。此程は不夜、ねり物へ御越し成され候や、御ゆかしく存じ候。少少、御閑暇の節、御来訪希ふ所に候。金寶子へも宜しく。甲曉子へも。
佳棠様

蕪村

着物に絵を描いてもらうなら梅亭の方が巧みであると蕪村は述べている。梅亭は紀梅亭であろう。紀梅亭は蕪村の門人、美人を描かせるも名の高い人である。蕪村は自分の弟子をもち上げて、仕事を与えてやっているとされる。だから、尚々書きで、小糸が更によく希望するなら書くといっているわけである。蕪村自身、前掲の書状でもわかるように豊かな生活をしていたわけではないが、自分への画の依頼を弟子に廻していたのである。蕪村の没歳は六十八、その年、梅亭は五十歳であるから、この手紙の時には梅亭は四十歳代と思われる。

作函に関する佳棠宛の書状は外にも残っていて、蕪村の画は一枚が金百疋（一分）、今の価格にして二、三万円ぐらいであったことが知られる。佳棠は本屋であるが、そうした画の注文の仲介をも蕪村にしていたのである。
（龍谷太学教授・文学博士）

宗政先生に玉稿をいただいておりましたものが他の論致と合わせて下記の通り刊行されました。御所望の方は古書研究会各店までお申し込み下さい。

●近世京都の出版・書林・蔵書についての本格的な研究書！

近世京都出版文化の研究

宗政五十緒著 出版を業とする市人（書肆・書林）が出現して出版業が初めて成立するのは近世京都においてであった。著者は出版を近世文化の主要な一文脈として価値づけ、撰著者・編纂者・蔵板者・書林・販売人・貸本屋・読者・撰著者・編纂者・情報流通の回路を通じて、文化が創造・生産され、伝播され、享受されるさまを、豊富な資料にもとづいて論究する。著者積年の研究成果であり、近世史、出版文化史研究者待望の書。

〔目次〕

I 近世京都の出版文化 近世京都の出版文化概観／近世の出版状況／近世京都の出版略史／劇書の成立と展開／幕末京都の書林と出版／幕末京都の出版界の状況／出版文化の諸相 II 近世京都の書林 出雲寺和泉掾／吉田四郎右衛門／柳枝軒小川多左衛門／竹苞樓佐々木惣四郎の蔵板資料／河南四郎右衛門の一門／北村四郎右衛門の蔵板書／恵比須屋市右衛門／吉野屋大谷仁兵衛／菊屋喜兵衛の西川絵本／平楽寺村上勘兵衛の明治初期の私書販売／文昌堂永田調兵衛の明治初期の図書出版部数 III 京都書林仲間 京都書林仲間／京都書林仲間の記録 IV 近世京都の蔵書家 元政開基深草瑞光寺の唐本／智積院運藏僧正の蔵書／本派本願寺大谷家所蔵の小説稗史類 V 出版文化傍語 板木の保存／ハーバード・イエンチン図書館と所蔵和書／印刷出版史研究者禿氏祐祥博士の行実。

● A5判／470頁／予価九、〇〇〇円

同朋舎

本社 社于600京都市下京区中堂寺鐘田町二電0530333 振替京都三三三
東京支店 千代田区千代田三橋町三十三 電話032342866

注定制です。書店にご注文を！

反省と展覧 —座談会より—

先ず事業面では昨年度は一月二十七日より二月二日までの間、京都社会教育総合センターに於いて「京の子ども文化展」——学びと遊びの今昔——と題して、展示会と即売会を開催しました、81年度に「京の書物今昔展」——京のガイドブックの変遷史——と題した催しに続くもので、古書研究会

おいでも、ある程度の成果があったのではないかと自負しております、青空即売会についての課題もたくさんありますがここには略します。

革されるでしょう。セコハン物も同時に増え続けている現状では、均一本を主力とした廉価販売専門店も出来るかもしれない、が反対にベストセラーになつたもの程、セコハン本が売れにくくなつて来ているのも事実です、安いものならなんでもよいから買うという人は少なくなつて来ている様に思われます。勉強・研究する為には本を買う人は、必要な

の再価値付けを試みる事、美術・芸術分野（見て楽しめるもの）への進出等、各自の目指す方向は色々有ると思います。もう一つはコンピュータの発達も重要な課題になるでしょう。アメリカではすでにコンピュータが作った小説を各家庭の末端機へ供給する事も始まっています。古本屋各店にもコンピュータが導入される日は、そう遠い将来ではないでしょう。

知識、情報の伝達方法そのものが変わりつつある現状で問題は山積みしております。

今度「京の書物今昔展」——京のガイドブックの変遷史——と題した催しに続くもので、古書研究会

多様な型での販売をめざしながら今まで進んでいました、共同での目録作り（展示会は無し）も、や

ら少々高くても買う、不要なら少々安くても買わない、この要不要の区別が段々はつきりしてきた様に見うけられます。経済的なものもありますし、それにコピーも大きく影響して来ています、コピー

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

今度の当会の課題としては即売会十展示は確かに勉強にはなりましたが、反面仕事の量が普段の即売会の三倍にもなつて大変な苦労をしましたが、それに会場の知名度を低く全体としても売上げは目標から下廻りしましたが、何とか続けられる様努力して行くつもりです。

現今の出版物の氾濫は相当なもの、これよりも益々本は増え続けているので、その中で対応して行くか、それ以外で対決するか、いづれも本そのものの価値を見極める事が先決でしょう、五年先、十年先を考えてみて下さい、新刊書店には文庫・新書・マンガ・雑誌

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

読み捨て時代

今度の当会の課題としては即売会十展示は確かに勉強にはなりましたが、反面仕事の量が普段の即売会の三倍にもなつて大変な苦労をしましたが、それに会場の知名度を低く全体としても売上げは目標から下廻りしましたが、何とか続けられる様努力して行くつもりです。

現今の出版物の氾濫は相当なもの、これよりも益々本は増え続けているので、その中で対応して行くか、それ以外で対決するか、いづれも本そのものの価値を見極める事が先決でしょう、五年先、十年先を考えてみて下さい、新刊書店には文庫・新書・マンガ・雑誌

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

全体に不況の波が押し寄せる中に

以上はほとんど無くなつてしまいかもわかりません、又欧米並みに再販制度が完全に無くなった状態

料の発掘を心掛ける事と二次資料

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

今、なぜ京都か？
今まで京都は特に何もしなかった面がおおかつた様に思います、伝統的な京都風と言うか、二代三代続いて来たゆとりか、悪く言えばおちやくか、真剣味が不足しているのか、切羽詰つた状況に追いつかれています。同業の皆様にもあたたかい言葉と同時に刺激を受けて「何かしてやろう」という冒険精神と失敗は出来ないという緊張感を持ちながらも、まだまだと、歯がゆく思っております。五年間ガンパツテ、会を続けてまいりました、今後の発展を期待していただくと共に、水永くおつき合います様お願い申し上げます。

思わぬ出費！

その様な時、御利用下さい。

- ・出町店・京都市上京区河原町今出川上る ☎231-7711番
- ・衣笠店・北区西大路通り平野神社北隣 ☎462-3371番

ZENSHOD
本専門の質屋
善書堂

一 古本屋の本音

藤井 敦

昨年の暮れ古本市から仕入れた本を整理していると、かつて私が売った本があった。廻り廻ぐって私の手元にもどってきたのです。懐かしい店のシールがまだ残っています。このシールを使っていたのは、もう十数年あるいは二十年前だろうか。いずれ又、私の手から離れていくのに不思議な愛着を感じます。今までに何万冊か私の手からお客様へ送った書物、時々あの本いまだうなっただろうか。あの時は安く売ってしまったな—なんて思い出す事があります。

私はいや古本屋の多かれ少なかれそうだと思いますが、入手した本をいろいろ調らべて見るのが大好きです。特に和本、古文書類、古写本、短冊幅物など、たまりませんね。『国書総目録』『人名辞典』等々……参考書をごねまわしている時間的事など全く忘れてしまっています。どんな面白い推理小説やパズルよりも、ずっと、面白いです。

女房に「もう早く寝なさいよ」「こんな虫喰の汚れ本座敷に持ちこまないで下さい。」と叱られながらも止められない。

調らべる事、即、金もうけに連ながるからか？ 知らずに売るとの知

って売るのは値段の付け方がちがう。数十倍もの価値の有るものを知らずに売って、しまった後で害虫を噛みしめる事も何回かある。後で害虫を噛みしめる方はまだしも今だに売った本の価値すら知らずにいる事だつて随分あります。

本当の価値評価が出来てこそ一人前の本屋でしょうが未熟な、私には中々困難です。

調らべ過ぎると大変なミスをする。ことが有ります。それは過大評価です。見ている内に写しが段々本物に見えたり、稀覯本になってくる事があります。欲と未熟な目が錯覚を招きます。一生懸命やればやるほどその様な事がおこります。

こんな商品をお客様に売れば大変です。たちまち「あの店はペラボウに高い」、悪い品を売って平気でいる。不評が耳に入ってきます。知らずに安く売った時のお客様の批評は私等の耳には余り入ってこないのはなぜでしょうか？

時には「良書を安く載きました」と札状を賜わるお客様もある。しまった安かったかな……と思ったり。まあ喜んでもらえれば良かったと思ったり。

自信を持った値段で売れた時に喜んでもらうと私もスキットします。即売会等で先輩の本屋に買われると情けなく、くやししいものです。どうして同業者が買って行く物をお客様が買えないのでしょうか？

この同業の先輩は、この商品に利付して中には、何倍かにして売りこなすのに、どうしてお客様は私の所から掘出してはくれないのか？、又、なぜ先輩の同業者は私の商品を私の売値以上で売りこなせるのでしょうか？

最近その疑問もやつと理解出来る様に成りました。実はそれは、自信ある値段だからです。先輩の同業者は、永年の経験と実績、何よりも本を良く知っている知識があるからです。

この自信がお客様に正当で価値ある値段で満足させるのだと云う事ですね。

或るお客様の話ですが、始めて訪ずれた古本屋の店では、まず基本図書の見値を見たとその主人がよく本を知っているか、否かがわかるそうです。

ホボ標準の値段の付けている店を本を良く知っている。やや高い、やや安いはともかくも、ペラボウに高い値段の店は、しめたと思うそうです。その主人は本を知らない念入りに探すと必ず掘出し物があるとの事。何かで読んだのですが、「知っていて高く売ると、知らずに高く売るのが悪賢で

ある。」

以前老舗の先輩に聞いたのですが「本屋はその本の内容や価値判断の講釈を考へる必要はない。そんな事はお客様が判断することだ。」

三冊の蔵書

蔵本邦夫

学生時代から古書店巡りを始め、どんなに疲れていても古書店の看板を見ると、ついふらふらと足が向いてしまう。妻の言を借りれば、私のはもう道楽だそう。そして道楽迄して捜している本はというと、明治・大正期に翻訳された、『ドン・キホーテ』である。

この書の最初の翻訳は、明治20年7月から9月迄『教育雑誌』に連載された『鈍喜翁奇行伝』である。所が、これ以前に抄訳本であると称する書が二冊出版された。この直後に、又、一冊出版された。第一は、明治18年11月から翌年1月迄『吾妻新誌』に連載された。題を「歐洲情史玉薔薇」というが、原題は、同じ著者の『模範小説集』中の「いつわりの結婚」である。内容は筋を追うだけで、非常に短い。これの完訳は、明治20年10月に出版せられた仏国セルバント氏著、愛花仙史聞、中村柳鳩訳『歐洲情史美人の罫』である。広告には、此原書ハ文章の流暢優美を以て歐洲に名高く其諸国に翻訳して

だ、それよりもお客様が求めている本のより良書をより多く、提供することを考へるべきだ。」

非常に自信に満ちた言葉だと思いましたが。

伝ハるもの数十版あり卷中一美人の困苦一姦婦の毒計一義僕の実意一武官の経歴を骨子として編成し変幻出沒巧みに意想外の趣向を出せし訳文亦流暢優美を旨としたれば毫も原書の妙を損せざるなり一読の上其妙を知り給へ」と書かれてある。訳者に就いては、三重県士族中村豊之助とわかつていてるだけである。

扱て、この二冊の間にもう一冊明治20年4月出版の仏国セルバント氏著、愛花仙史聞、斎藤良恭訳『歐洲新話谷間之鶯』がある。原題は、矢張り小説中の「血筋の力」である。三冊ともに、セルバンテスはスペイン人ではなくてフランスとなつてはいるが、これは勿論誤りである。又、内容も「ドンキーショット」中よりの抄訳ではないことも先に述べた。しかしながら、私はこの三冊に非常に愛着があり、同時に貴重な私の蔵書でもある。これ等を私は、セルバンテスの明治翻案三部作と呼んでいる。

京都外国語大学講師

古書店というよりも古本屋さん

湯端 晃

古本屋さんとの出会い？という
のは、中学の二年頃だったでしょ
うか、京都へ買い物に行った時に
寺町京極をぶらぶら歩いていると
店先に鉄道雑誌が積まれているの
を見つけ、小さい頃から汽車が好
きだった私は、早速その山を崩し
はじめました。次から次へとほし
い房か出て来て、結局値段と相談
で四冊ほど手にしました。店の奥
に御主人が座っておられて、私は
おすおすとその四冊を差し出した
わけです。御主人はその私の差し
出した雑誌を紙で包んでくれました
。千円札を出して少々おつりを
もらい、さてと辺りを見回わすと
そこは本の国でした。天井近くま
でうず高くつまれた本や、その横
の方にはまだ紐で括られたままの
本などが葬めっていました。こん
なにも多くの本がある風景という
のは、本を多く読む習慣の無い私
の家や、私の生活して来た所では、
僅かに学校の図書館くらいだった
でしょう。でも図書館というのは、
明るくて広くて何かこうとりすま
している様な感じがしますが、古本
屋さんの場合、暗くて狭くてでも
庶民的な暖か味があるような気が
してなりません。

さて高校に入ってからには休みの
日には、今出川や丸太町辺りへ河

原町へと何軒かの店を梯子して歩
きました。全く古本屋さんにとっ
てはいい客ではなくて、店先の均
一本の台から安い小説や全集物の
端本、文庫の棚からきれいな表紙
の物を5・6冊しめて千円前後、
多い時でも二千円どまりの買い物
しかないからです。それでもあ
ちこち通う間に自然と買ひ方のコ
ツとか店の特徴などもわかるよう
になって来ました。

大学へ行くつもりが向うの方で
私をフリ、今は公務員となつてし
まいました。今でも古本屋さ
んへはよくちよく行きます。給
料をもらって自分の金で本を買え
るという当り前のような事が誇ら
しかったです。

第6回の古本まつりでも三日と
あけず、毎日でも出掛けて行きま
したが、その為か安政五年と書か
れた袖珍の武鑑を安くで手に入れ
ることが出来、一番の収穫と喜ん
でいます。

鉄道と歴史と文学が好きでほと
んど節操の無い買ひ方読み方をし
ています。けれどこれも古本屋さ
んあればこそです。これからも頑
張つてのれんを守つて行つてほし
いと思います。

〒607山科区日ノ岡鴨土町43
湯端晃(19才)郵便局勤務

海のシルクロード展を観て

— 神戸市立博物館開館記念特別展 —

臨川書店 久保田厚生

十二月一日、ABAJ(日本古
書籍商協会)主催による「海のシ
ルクロード展覧会」に、大阪の
中尾松泉堂さんのご好意により参
加させていただいた。神戸・大阪・
京都それに東京の十人程を加えて
総勢三十余人、師走のかりとは
いえ、多忙の中をよくこれだけ集
まったものと、皆さんのバイタリ
テイにいたく感動した。殊に、東
京の入達は七百年の入場券を買っ
て、ぐるりと観るだけの為を一日
を使い、しかも新幹線往復やなん
やで軽く数万はトブだろ〜と
いうのが感動の湧く原因。それは
冗談として、このような催物を観
に行こうとする行為の中に、古本
屋としての研鑽があると実感した
次第。よく見、よく聞き、よく読
み、よく買ひ、そしてよく売るよ
き本屋でありたい。

さて「海のシルクロード展」は
東海上交易の歴史をメインテー
マに、あちらの受容とこちらの受
容とが、波濤を越えて、「日本にお
ける異国趣味」という二つのタイ
トルのもとに展開されている。オ
ルテリウスやミュンスタターの地
図を導入部として、大航海時代へ

とヨーロッパの人々を駆りたてた
アジアの香料や立役者オランダ東
インド会社(V.O.C)関連の資
料へと歩を移すに従って、彼等の
アジアへの憧れと野心が明確にな
って来る陳列の仕組であり、分り
やすい。圧巻はプリンセスホフ博
物館の蔵品を主体とした陶磁器百
数十点。今でこそ世界中の日常生
活に行きわたっている、弾じけば
チンと鳴る磁器も、十八世紀初頭
ドイツのマイセン窯の完成までは、
東洋の宝として熱狂的に珍重され
ていたのだ。今日テレビでカーク
ダグラスがコーヒーカップを指で
弾じてニタリと笑うのは、彼の
中の古い血が騒ぐからに他ならな
い。中国の景德鎮窯から日本の肥
前もの、それらのニセ物や、注文
品としてではなしに、経済史資料
として見ると小生の如き素人には
本当に面白かった。V.O.Cの
デザイン文字が大きく入った品々
は、今はやりのグッチやなんや
らと同じく、ブランドものとして
通っていたのだらうか。磁器の皿
に盛るものは東洋の香辛料をふん
だんに使った肉料理の数々で、フ

オークやナイフがあたり度にかチ
カチと鳴って、その音が東洋への
憧れをいや増しにつらせたのだ
らう。使う時は余程のパーテイに
限られており、あとは、持つてい
る事を誇るために置物や壁掛けに
するというのがお金持ちのやり方
だったのだらう。その事を暗示す
るかの様に、絵皿のある風景を
描いた絵が何枚もあった。実に分
り易く、下世話に冗談を云いなが
ら楽しく観られる展示であった。

波濤を越え、弾丸をかいくぐつ
て日本へ辿り着いたヨーロッパ人
のお目当は、何と云つても日本の
銀にあつた筈だが、生憎シルバー
そのものが展示されていなかつた
のは残念だ。ともあれ我々日本人
は、大航海時代の冒険者達の野心
によって、さまざまな異国文化を
知ることになるのだが、それにし
ても当時の外国文化の受容はつづ
ましいものだ。結局日本では、これ
またヨーロッパと同じく、趣味と
しての異国文化受容に留まり、趣
味であるだけに部分であったのか
も知れない、など〜いいものを
沢山見て、いろいろ〜考えたりし
てもでも頭を使つたのは、コレの相
場はイクラ位だらうかということ
に対してでありまして、古本屋の
研鑽はそこ迄及ぶという内輪の一
席まずはこれまで……。

資料紹介

『大藏經入藏記』という本が有り
ます、これは写本ですが何かの
資料になるかと思ひ翻印を試みま
した。

原本体裁

美濃版 表紙共墨付八丁

慶応二年写

本文は段落が無くて読みづらく文
意も理解しがたい箇所も少しあり
ますが、句読点を入れ何とか解読
出来る様にしました。

内容は円光寺の住職であろう某が
少年の頃より念願であった一切経
を安置すべく、経蔵も求めたが、
この頃の新しい一切経では紙も刷
も悪い上に値のみ高いので、古本
で書林丁子屋を介し紙・刷共に良
いものを買ひ得た。代価は信者の
寄附によつた。以下はその金額と
名前である。これらはひとへに仏
徳で非常にありがたい事でありま
す。

(表紙)

一切経入藏記

慶応二年丙寅十月十七日

洛陽 御幸町松原 円光寺

(表紙裏)

藏経五千四百三十卷

二百六帙

価百六十八両也

慶応二年丙寅十月十六日購得

釈尊の説置玉ふ経文今世にとどま
りたるハおよそ凡五千余巻これを
一切経といふ、然るに未代患世と
なり衆生の邪見いよ／＼さかんに
して、仏法をそりあなどるものお
ほく、又は邪宗をよるごびて仏法
をほ路保さんとはかるものさへい
で来て、仏法これがためにあやう
き今日なり、ここに某少年の時よ
りわが住ところには必一切経を安
置せんと念願せしが、二度の火災
にあふてこれを果さぬのミならず、
あまたの書籍をやきうしなひたれ
ば。このたびは先土蔵を建立せん
とおもひけるに、諸色価のミ高く
品あしくすべて大息する計りなり
然るに昨年極月京三条辺なるか、
ある呉服屋の店蔵にて凡三千余巻
前に建てたる極めて堅固なる蔵に
て、けがれたる物一へんも入れず
とききて急に望を起して買得し、
慶応二丙寅の正月より作事にかか
り夏をこし十月さし入りに致り、
左官方より来ル十五日に足場をは
らひ候ほどに、もハや品物をおさ
め玉へといふ、仍而某ひそかにお
もふ様ハもとより経蔵の念願又人
にも経蔵といひ触らせしが、
経本ハなし、この此印坊にてあた
らしきを求め候得ば、古へちが
ひ価は三百五十両にして板もあし
く紙ハことにあしく。何とぞ古き
本をもとめ得たき事。さりとては

経蔵といひふれたるに余の書籍の
ミ入るハ本意ならぬ事と。おも
ふ折から西六条書林丁子屋来りて、
このたび西国より古本の一切経の
ほか大坂まで着し候といふ、仍而
もしのぼりたらバ先一見せバやと
いひ遣しける。さて十月十二日太
田元七、田附勤兵衛兩人の同行愚
筆の認め物をもたむ事ありとてミ
へられければ、事の子細をものがた
り居る処え又右の書林来り、かね
て申入候古本の一切経五千四百三
十巻、紙板極上にて藏書印法名小
口書等の疵一切なし、明後十五日
までにとり揃て一覽に入れ申べく
といふ。幸なる事にて右兩人の同
行をたのミ十六日早天に罷越し価
の対談に及びし処。書林申様ハ価
十九貫拾五匁なれども経本の事故
に金百七十両までに致さんといふ、
兩人の同行より百六十五両まで買
んといひける程に。某傍より御経
の事故に今三両遣さんといひけれ
バ百六十八両にて手をうちける。
さて売主いひけるハ私大坂え下り
一見するなり即一座の応対にて買
取候が。又今日一座にて埒明き候
事是も此時節柄よくの因縁な
りとして酒飯を出して饗応し其翌十
七日にのこらずはこび来りて円光
寺の新蔵に取めける、然れバ十五
日に土蔵出来同日御経のぼり来り。
十六日に買得し十七日に入蔵、余
物ハ勿論余の書籍一巻も入れざる
に一切経を収め候て、所謂眞の経
蔵となりたる事はかかる悪世界に

も不思議なりし因縁、某多年護法
の念願あれバひとへに冥加の御事
ならんとおもひ、且全くハ仏經の
靈瑞奇特なりと深く歡喜しける。
この事を有縁の同行聞及びて往々
にたづね来りて隨喜せり、時に某
右之備いかがせんとおもふより。
それ／＼たのミ入りてしバし借用
いたし度旨述けるに皆々快く引受
らる。是又全く仏法の御徳明らか
なる事なり。

金五十両 入藏即日 太田元七殿
先当座手附多々渡しくれられけれ
バ即口不^レ殘入藏しける

同十八日

金十両 田附勤兵衛殿

金十両

同廿日 紀伊馬久兵衛殿

金十両

同廿一日 木崎嘉右エ門殿

金十両

同廿二日 室町三条上ル

同廿二日 近江屋宗兵衛殿

金十両 田附太兵衛殿

金十両 一条大宮

金十両 千田藤兵衛殿

同廿四日 河内屋忠兵衛殿

金十両 平岡利兵衛殿

金十両 平岡利助殿

金十両 中野忠八殿

金十両 西岡新助殿

金十両 多田佐兵衛殿

金十両 木崎嘉兵衛殿

右之通取替くれられ候間、北国屋
に四十両返済に及び同く十両の一
分とせし事也、他に寄附もたまり
有^レ之候間それらを取そろへ、書
林にハ約定の金子百六十八両速に
遣し候事也。

裏表紙(別筆)

釈迦如来の教法もまさに滅せん
とする今日なれば、法意を永く世に
とどめんと欲する報恩第一ハ。一
切経を安置するに過したる事なけ
れば各々寄附し玉ふも眞実に仏法
弘道の為と思ひ玉ハるべく候。猶
又一切経供養会の席をひらき永代
誦経し退転なからしめんと乞願ひ
侍るのミ。

追記

円光寺(真宗)御幸町松原より二
転して現在左京区北白川
この寺は著作六十部百三十巻以上
という当代一流の学匠である香山
院龍温(大谷派第十五代講師)の
住した所で、本文に出てくる某と
いうのは龍温氏の事か?(龍温氏
明治十八年八十八才にて他界)こ
れ程の著作を遣す人の筆つかいと
は思えぬ個所もあり、直筆かどう
かは不明
尚円光寺の蔵書は大谷大学に香山
院文庫として寄託されていると聞
きました。後日再調査できました
ら報告致します。

探求書コーナー

このコーナー利用者は定期購読者に限りま。

定期購読者の方で探求書掲載希望の方は、編集部までお知らせ下さい。尚、紙面の関係上、探求書多数の方の場合一部割愛するか、残りを次号廻しとさせていただきます。場合もございませのでご了承下さい。

〒617 長岡京市馬場井科田

一十九 浜田俊樹

○ヘミングウェイ全集 (第五巻) 三笠書房

〒05 京都府北桑田郡京北町大字601 上弓削 上殿不二雄

○満洲国全土、奉天省、東滿総詳細地図。大西良慶の著書。死後の世界関係のもの

〒194 町田市金森一三五五

松村要

○ショーペンハウエルの哲学 大住嘯風 天弦堂

○ショーペンハウエル恋愛哲学 竹内楠之 訳

○その他ショーペンハウエル関係の単行本、雑誌等

〒990 山形市双月町一―二一六

石島庸男

○「山寺状」享保11年三条芳野屋徳兵衛版

〒572 寝屋川市池田本町 二十一三十三 蔵本邦夫

○明治・大正期発行のスペイン文学関係の訳書

高槻市城北町二丁目 十三―十五 竹内良一

○サンカの世界 三角寛 朝日新聞社・山窩物語 三角寛 読売新聞社・山窩の生活 鷹野弥三郎 二松堂書店

○サンカ社会の研究 三角寛 会資料編 朝日新聞社

○サンカ社会の研究 三角寛 母念寺出版

○関中忙 清水光昭 限定本

○川崎市宮前区宮崎二―六一 十一―バズビレッジA―七

○三 木村公子

○仮眠する雷鳥 江寄一夫 文京社

○京都市伏見区醍醐折戸町 一〇九三 中川京子

○水のように 浪花千栄子

○努力論 幸田露伴 岩波文庫

○京都市東山区新門前西ノ町 二―四 西川商店

○壳屑庵扇譜

○寝屋川市黒原城内町七―一九 桑野蔵人

○江戸時代の民間療法関係の著書

〒617 向日市上植野町馬立 十二―七 大田郁子

○千夜一夜物語 大宅壮一監修

〒535 大阪市旭区高殿四丁目 二十二―五―一〇―二三 茂実

○太平洋島嶼誌 ポリネシア・ミクロネシア篇 三省堂刊

○京都市左京区吉田泉殿町 六十一―一泉殿荘内 季頌

○朝鮮古蹟図譜 朝鮮総督府蔵

〒606 京都市左京区岩倉中大蔵町 三十五 清水栄

○アルス 昭10年位出版 万有科学大系正篇「物理」

〒616 京都市右京区花園猪ノ毛町 八―一花園団地25―202 升山春彦

○LP技術事典 高城重躬 鱒書房

○豊中市上野東二丁目 十七―三十四 加藤正明

○聖書の世界 全7冊 講談社

○嘉信 全12冊(?) 岩波

○聖書講義 全20冊 岩波

★探求書掲載申し込み先★

〒604京都市中京区東洞院六角上

京都府古書籍商業協同組合内 京都古書研究会

『京古本や往来』編集部

◎古書研だより

○文化の日にふさわしい「青空古本祭り」第六回も会員の若きパイタリテイで終り

○新しく古書研事業の一環として「総合古書在庫目録」第一号発行準備、発送と矢次ぎばやに来た年の背も、会員のエネルギーを努力と総合で五十七年度は暮とな

り。

○「京古本や往来」も、うぶ声をあけて五年目、総会を迎え今日迄長い間道引いて下さった代表の前田司氏、我々一年生も五年生になり、次回二十回を迎え様として

ます。今後も会員同様ファイアマンとして第二十二回記念号を、

4月より、中村俊一氏に代表をパトナタッチ、長い間有難う御座いました。

昨年十一月の古本まつりにはたくさんのお本を御寄贈いただきありがとうございました。紙上をもちまして御礼申し上げます。

寄贈者氏名、千葉県松戸市 石井正吉様・会津若松市 鈴木様・左京区、白崎様、梅津 岡村様他たくさんの方々

おわびと訂正

18号年間購読料・240円は500円の間違いでした、おわびして訂正致します。

次号予告

「京古本や往来」第二十号は五十八年四月十五日予定です。

投稿原稿求む

本誌では、ご購読の皆様へ投稿原稿を求めています。

『私と京都の古本や』

『私の蔵書(この大切な一冊)』

というような課題で、原稿用紙二―三枚程度で編集部又は、京都古書研究会加盟店へお届け下さい。

編集後記

○中曽根政権を迎えた一九八三年まがる事の出来ない干支、猪年、何か明るいきざしが見えそうなけ

は。

○我が古書業も今年度は、当地京都で四年ぶり全国連合の大会(五月二日が開催)

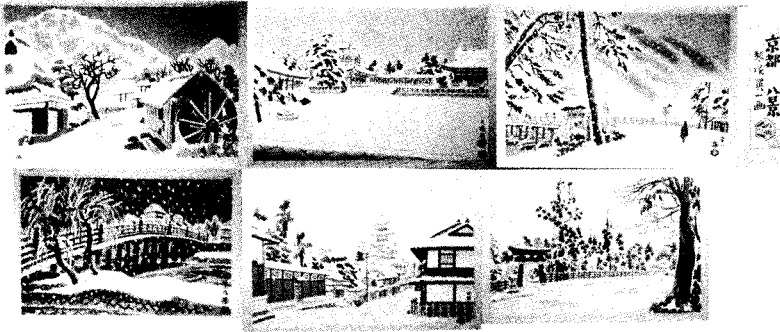
○優秀な書物が北から南迄全国各地から、古典籍、美術書、地誌、歴史、国文とあらゆる古書籍が、集まり大オクシオンにかけられる。

(業者のみの置入札)

○お客様の橋渡しに良い品物を仕入れ喜んで戴ける様、この往來のページにうまる事を祈りつつ今から期待大なり、

○第十九号は巻頭言を徳力富吉郎先生に。記事を書きました諸先生方に厚く御礼申し上げます。

編集スタッフは谷、藤井、久保田、山崎、森下でした。



版画 京都雪八景 琴塚英一画 全8枚 袋入 大版 ¥50,000

大書堂

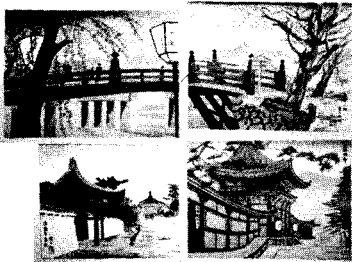
〒604 京都市中京区寺町通錦上ル
 電話(〇七五)二二二一〇六八五
 振替 京都 三一六一六五



版画 京洛十二題 徳力富吉郎作
 全13枚 映入 短冊 ¥50,000



版画 京舞妓六題 長谷川真信作 全6枚
 映入 中版 ¥55,000



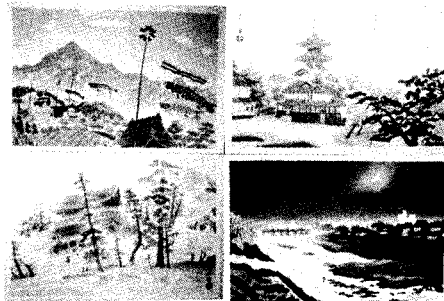
版画 京都八景 徳力富吉郎創作
 昭和18年 全8枚 袋入
 中版 ¥25,000



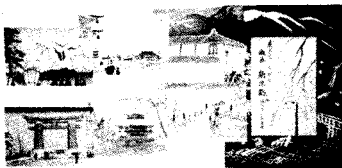
木版 京の大原女五題
 長谷川真信作 全5枚
 映入 短冊 ¥30,000



版画 嵐山風光 徳力富吉郎作
 全6枚 袋入 はがき版 ¥7,500



版画 京四趣 琴塚英一画 全4枚 袋入
 大版 ¥24,000



版画 新京都 徳力富吉郎創作
 全6枚 袋入 はがき版 ¥7,500

〒600 京都市下京区寺町通仏光寺

三密堂書店

電話(〇七五)三五一九六六三
振替 京都 三 四 七 一

- 1 仏教地理概説 吉田龍英著 昭9 仏教年鑑社 一、五〇〇
- 2 仏教方法論 石津照賢著 昭9 仏教年鑑社 一、〇〇〇
- 3 大乘仏教戒律の救済根本格著 昭44 淡交社 二、〇〇〇
- 4 小乘仏教戒律の救済根本格著 昭44 淡交社 二、〇〇〇
- 5 大乘經典の概説 若槻修造著 昭9 仏教年鑑社 一、〇〇〇
- 6 印度仏教史 桜井善晃著 昭10 仏教年鑑社 一、〇〇〇
- 7 仏教渡来史 藤原猶雪著 昭9 東方書院 一、〇〇〇
- 8 原始宗教カミの誕生岩田慶治著 昭45 淡交社 一、五〇〇
- 9 現代宗教疎外と寛容加藤秀俊著 昭45 淡交社 一、五〇〇
- 10 二十唯識論述記二冊柳沙門基操明和5 永田長兵衛 三、〇〇〇
- 11 傳教大語 半井桃水編 大10 丙午出版 三、〇〇〇
- 12 十善法語 六冊柳富田鳳瑞著 昭12 同進善会 一、五〇〇
- 13 黄檗山聯頌集 福山朝丸書編 昭10 其中堂 四、〇〇〇
- 14 茶室掛物禪語通解赤路宗真著 昭3 潤松堂 三、〇〇〇
- 15 白隠と夜船閑話 野村瑞城著 昭14 人文書院 一、五〇〇
- 16 正法眼蔵辨道話話話鈴木天山著 昭14 道元刊行会 二、〇〇〇
- 17 増冠宏智禪師頌古二冊柳古田梵仙編 明19 松屋書店 六、〇〇〇
- 18 大慧普賢禪師書二冊柳高木龍淵編 明36 貝葉書院 五、〇〇〇
- 19 易学美占講座六冊柳東洋易学研究会編 昭33 東洋易学 一、五〇〇
- 20 易学楷梯 谷川竜山著 明26 弘文館 二、〇〇〇
- 21 人生一代之運氣 木村茂市郎著 昭5 大屋書房 二、〇〇〇
- 22 我一代運命鑑 阿和水海著 昭12 神宮館 三、五〇〇
- 23 革新推命学極秘伝六法実例集朝田啓郷著 昭49 推命学 三、〇〇〇
- 24 観理適用曆年鑑 佐藤観元著 明25 観理學 一、五〇〇
- 25 画相真伝(林流相法)中村文聰著 昭48 悠久書閣 六、〇〇〇
- 26 方則指要 黒田昌編 文化13 吉野屋 二、五〇〇
- 27 姓名構成秘法 石島道符著 大15 神易館 二、五〇〇
- 28 姓名判断と其運命宗内章著 大14 精華堂 二、五〇〇
- 29 手相の科学 永島真雄著 昭14 清教社 一、五〇〇
- 30 ゆめ占いの話 観象学人著 昭43 神宮館 一、五〇〇
- 31 家庭医学宝鑑二冊柳西勝造著 昭32 健康日本社 四、〇〇〇
- 32 西医学健康法 西勝造著 昭22 大阪書房 一、〇〇〇
- 33 西式血脈病療法 西勝造著 昭8 実業之日本社 一、八〇〇

出町と衣笠

善書堂

出町店 〒602 上京区河原町通今出川上ル
電話(〇七五)二二二一七七一
衣笠店 〒603 北区西大路通平野神社北隣
電話(〇七五)四六二二三七一

- 1 比律賓跋渉 土屋元作著 同文館 大5 三、〇〇〇
- 2 英和対譯 鉄道用字辨 附図解 明32 三、〇〇〇
- 3 日独伊航空用語辞典 附図解 昭17 三、〇〇〇
- 4 私宿屋観 三宅恒方著 春陽堂 昭10 三、〇〇〇
- 5 諸国行脚 名物津久誌 松本久吉編 大11 一、五〇〇
- 6 湖沼めぐり 田中阿歌塵著 博文館 大7 二、〇〇〇
- 7 温泉案内 地図旅館名入り 鐵道院 大9 二、〇〇〇
- 8 名山遊記 徳富猪一郎著 民友社 昭3 一、五〇〇
- 9 行脚お遍路さん 斎藤知白著 友善堂 昭2 二、五〇〇
- 10 林間学校 岡田・竹内共著 内外出版 大13 三、〇〇〇
- 11 金剛山探勝案内 朝鮮總督府鐵道局 昭3 三、〇〇〇
- 12 水戸名勝誌一附太田及三瀆案内 明44 二、五〇〇
- 13 房総紀要一地図一枚入り 千葉県編 明44 三、〇〇〇
- 14 名古屋 名古屋市役所編 昭2 二、〇〇〇
- 15 徳島案内 井上一著 大2 二、〇〇〇
- 16 那須温泉案内 那須温泉宿業組合 大7 一、五〇〇
- 17 富山県誌要一地図入り 富山県編 大13 三、〇〇〇
- 18 返子案内誌 高田乙三編 明36 二、〇〇〇
- 19 島田と近郊 蘭契会編 昭8 一、五〇〇
- 20 日本名勝地誌一西海道之部一野崎左文著 明36 二、〇〇〇
- 21 大坂けいぶつ一木版画入り矢島晋平次著 明28 四、〇〇〇
- 22 道頓堀通 日比繁治郎著 四六書院 大9 二、〇〇〇
- 23 大阪府誌一地一晚とまりの遊覧野田彩霞著 昭3 三、〇〇〇
- 24 御大典と京見物 高橋新六著 神陸閣 大5 三、〇〇〇
- 25 阿波名勝誌 堀本鶴八編 大11 二、〇〇〇
- 26 欽楽郷めぐり 松川二郎著 三徳社 大13 二、〇〇〇
- 27 新撰 泉海案内 折込み地図入り 宮崎県 大14 一、五〇〇
- 28 新撰 泉海案内 斎藤要八著 昭8 一、〇〇〇
- 29 承久の乱に於ける順徳天皇と佐渡 明36 三、〇〇〇
- 30 大阪市堂島尋常小学校沿革誌 北区役所 大4 三、〇〇〇
- 31 西成郡史 大阪府西成郡役所編集発行 大15 三、〇〇〇
- 32 大正大阪風土記 大阪市教育部編 昭46 三、〇〇〇
- 33 明治鉄道錦絵 天坊裕彦編 交通協力会 昭46 三、〇〇〇

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル
同志社正門前

沢田書店

電話(〇七五)四五一〇五三三
振替 京都 一九一四八

- 1 叡山電気鉄道銅索線 山本和七 電気公論社 昭2 三、五〇〇
- 2 ニコニコ写真帖 増補第五版ニコニコ倶楽部 大4 三、五〇〇
- 3 日本歴史写真帖 大2 二、〇〇〇
- 4 台中州要覽 台中州 昭24 二、〇〇〇
- 5 扇港財界の歩み 神戸商工会議所六十年史 昭28 二、〇〇〇
- 6 野禽の中に 中西悟堂 昭16 一、八〇〇
- 7 鳥を語る 中西悟堂 昭22 一、五〇〇
- 8 野鳥ガイド陸鳥編中西悟堂 日新書院 昭16 一、〇〇〇
- 9 野鳥ガイド陸鳥編中西悟堂 日新書院 昭17 四、〇〇〇
- 10 野鳥の生態(1)双書仁部富之助北方文化聯盟 昭22 一、〇〇〇
- 11 野鳥.野草雑記二冊柳田国男 甲鳥書林 昭19 一、〇〇〇
- 12 車窓から見た自然界 脇水鉄五郎 山陽道 昭19 一、〇〇〇
- 13 今始庵だより 松山基範 非売品 昭29 一、〇〇〇
- 14 マッチ工業構造論藤井茂編 日本評論社 昭37 八、〇〇〇
- 15 日本のマッチ工業と滝川儀作翁 非売品 昭38 一、八〇〇
- 16 マッチ工業統計総論 明15 昭36 日本評論社 昭40 二、五〇〇
- 17 マッチ製造業実態調査報告書 仮刷り 通商産業 昭40 五、〇〇〇
- 18 マッチ工業の実態に関する資料 通商産業 昭42 三、〇〇〇
- 19 マッチ産業発達史 マッチ百年史編集 非売品 昭49 一、五〇〇
- 20 原書ZUNDEWARREN HARTING 昭46 三、〇〇〇
- 21 燐寸工業統制に関する大資本 日本燐寸工業者の機軸 昭11 二、〇〇〇
- 22 雑貨産業基本政策に関する私見 大塚宗元 昭42 一、〇〇〇
- 23 野外地質学の研究 上原寅次郎 昭39 一、五〇〇
- 24 社会問題及社会運動 河田嗣郎 岩波書店 大8 二、〇〇〇
- 25 ソヴェト教育学の展開矢川徳光 春秋社 昭26 一、五〇〇
- 26 ゲーリ式の学校 田中広吉 朝鮮教育研究会 大7 一、八〇〇
- 27 新理想主義の哲学 波多野精一 内田老鶴圃 明43 一、八〇〇
- 28 スピノザ研究 波多野精一 東亜堂 大4 二、〇〇〇
- 29 カント哲学序説プロレゴメナ 桑木天野訳 響龍社 大3 二、〇〇〇
- 30 現代に於ける理想主義の哲学 西田幾太郎 弘道館 大6 一、三〇〇
- 31 哲学概論 帆足理一郎 洛陽堂 大11 一、三〇〇
- 32 哲学概論 松原寛 イデア書院 大13 一、八〇〇
- 33 ヴントの心理学 須藤新吉 内田老鶴圃 大4 一、五〇〇

山崎書店

電話(〇七五)六四一四七七四
郵便振替 京都 一八三六

- 千612 伏見区深草稲荷鳥居前町22
- 1 書説(美術史学) 東京美術研究所
全90冊の内20冊欠 岩波書店 昭12 二,〇〇〇
 - 2 萌春 No.112 No.208の内37冊欠 298冊 日本美術新報社 昭30 三,〇〇〇
 - 3 美術批評 昭29 3号、昭31 1号の内 3冊欠 美術出版社 昭29 六,〇〇〇
 - 4 形 No.13 No.46の内 17冊欠 日本造形教育協会 昭31 三,五〇〇
 - 5 日本的美術No.61 No.199まで139冊至文堂 昭46、昭57 六,〇〇〇
 - 6 美 京都市立美術専門学校校友会編輯 大正十五年一号、昭和六年五号の内 10冊欠 大正十五年一号、昭和六年五号の内 10冊欠 大五 一八,〇〇〇
 - 7 昭和百年世界の美術全百四四冊 朝日新聞社 昭54 四,〇〇〇
 - 8 東洋美術 創刊号、二号 飛鳥園発行 昭4 三,八〇〇
 - 9 浮世絵誌 復刻 全八冊 飯塚書房 昭56 一五,〇〇〇
 - 10 克堂第三回作陶描画展覧会図録 川崎 克 昭15 三,〇〇〇
 - 11 尚 順 男爵家御所蔵品展覧 昭15 三,〇〇〇
 - 12 美術学校奨励式紀念画集(京都芸大) 芸師堂 明41 三,五〇〇
 - 13 第十四回扇面画帖 京都市立美術専門学校 校友会 芸師堂 明44 三,八〇〇
 - 14 京都市立絵画専門学校開校記念画帖 芸師堂 明43 三,八〇〇
 - 15 京都市立美術学校 作品集 芸師堂 明42 二,五〇〇
 - 16 京都市立美術学校 校友会記念画帖 明40 二,五〇〇
 - 17 百年史 同編纂委員会 京都市立芸大 昭56 五,五〇〇
 - 18 自撰 梅原龍三郎画集(普及版) 梅原猷呈署名入り アトリエ社 昭4 八,五〇〇
 - 19 青木 繁遺作展覧会図録 附尺牘と和歌 青樹社 昭14 二,五〇〇
 - 20 名家歴訪録 上・中・黒田天外 画家・工芸家 山田芸師堂 明32 一〇,〇〇〇
主に京都在住の画家・工芸家 僧などの訪問記録(田能村西入景年、鐵齋他)など二冊で五十七名集録 少しいたみあり 明32
 - 21 近世名家書画談 雲煙子 和装 優美館 明26 五,〇〇〇
 - 22 名人筆師 大國桐齋 和装 大國藤兵衛 昭11 三,五〇〇
 - 23 松島画航展覧会図録 松島勝之助 昭15 一,〇〇〇
 - 24 初等科圖畫(一)~(四) 教師用 文部省 昭17 六,〇〇〇
 - 25 初等科工作(一)~(四) 教師用 文部省 昭17 七,〇〇〇
 - 26 エノホン (一)~(四) 教師用 文部省 昭16 各 二,〇〇〇
 - 27 高等小学圖畫(一)~(四) 男子用一年・二年 二冊 文部省 昭10 二,五〇〇
 - 28 中学圖畫式・参 美術振興会 二冊 文部省 昭10 二,五〇〇
 - 29 模範小学圖画 尋常五年用 目黒書店 昭6 一,八〇〇
 - 30 日本圖画 一卷 大日本圖書株式會社 昭7 一,〇〇〇
 - 31 女子圖画2 美術振興會 日黒書店 昭5 一,〇〇〇
 - 32 女子維新圖畫3 美術振興會 日黒書店 昭14 一,〇〇〇
 - 33 新制圖法1 積善館 昭4 一,〇〇〇
 - 34 圖画の学習と指導 細島昇一 雄鶏社 昭24 二,〇〇〇
 - 35 中澤弘光作品集 同刊行會 限定 昭27 五,〇〇〇
 - 36 四天王寺金堂壁画 中村岳陵他 昭35 二,〇〇〇
 - 37 日本文化叢書 小川晴陽 養徳社 昭21 三,五〇〇
 - 38 花と芸術 金井紫雲 芸師堂 昭4 四,八〇〇
 - 39 芸術の宣伝に及ぼす効果と實際 鈴木吉祐 太陽堂書店 昭11 三,八〇〇
 - 40 富岡鐵斎と南画 本田成之 湯川弘文社 昭18 三,〇〇〇
 - 41 要綱日本紋章学 沼田頼輔 元阪 明治書院 昭3 五,〇〇〇
 - 42 日本工藝史 渡辺素水 藤森書店 昭57 五,〇〇〇
 - 43 日本本影史 坂井厚水 藤森書店 昭57 六,五〇〇
 - 44 審美的文化の類廢 ヨハネス、ガウルク 中外文化協會 大14 一,八〇〇
 - 45 マン芸術論集 桑原武夫訳 岩波書店 昭24 三,〇〇〇
 - 46 芸術論 全五冊 河出書房 昭15 一〇,〇〇〇
 - 47 美術学 山際 靖 朝倉書店 昭16 四,〇〇〇
 - 48 マツカ美識論 鶴尾浩訳 冬夏社 大10 二,〇〇〇
 - 49 芸術論 藏原惟人 吉田書店 昭21 一,五〇〇
 - 50 美術論 武田武志 唯物論全書 昭24 一,五〇〇
 - 51 フレイルマルクス主義芸術論研究 國民文庫 昭30 一,五〇〇
 - 52 芸術を愛する一修道僧の真情の披露 ヴッケンローダー 岩波文庫 昭14 三,八〇〇
 - 53 ラスキンの芸術論 植村鷹千代訳 岩波文庫 昭2 一,五〇〇
 - 54 ドラックの芸術論 植村鷹千代訳 創元文庫 昭27 一,八〇〇
 - 55 リット今日の美術 新潮社 二,五〇〇
 - 56 リット若い画家への手紙 新潮社 昭46 二,五〇〇
 - 57 美術の戦 石井柏亭 寶雲社 昭18 一,〇〇〇
 - 58 現代の芸術 講座現代10 岩波書店 昭39 一,〇〇〇
 - 59 現代の芸術 上田敏 小山書店 昭24 二,〇〇〇
 - 60 ヨーロッパの造形教育 手塚文四郎 えくらん社 昭35 二,〇〇〇
 - 61 東北古代彫刻史の研究 久野健 中央公論美術出版 昭46 一八,〇〇〇
 - 62 光学的方法による古美術品の研究 湿入り 吉川弘文館 昭30 五,〇〇〇
 - 63 久野健 大判 山田智三郎 東亜の影響 昭17 六,五〇〇
 - 64 暹羅の芸術 三木 榮 黒百合社 昭5 一,八〇〇
 - 65 古典美術の研究 市村英輔 雄山閣 大14 二,〇〇〇
 - 66 絵画事典 学校美術協會編輯 昭17 二,八〇〇
 - 67 美術辭彙 一氏義良 美術文化研究所 昭9 八,五〇〇
 - 68 美術辭典 元版 石井柏亭・黒田鶴心 日本美術學院 大6 六,五〇〇
 - 69 近代美術事典 内田敏他 白揚社 昭25 二,八〇〇
 - 70 現代美術事典 瀧口修造他 白揚社 昭27 五,〇〇〇
 - 71 西洋美術事典 マーリ 美術出版社 昭51 二,五〇〇
 - 72 日本建築辭典 中村達太郎 丸善株式會社 五,〇〇〇
 - 73 書院造の研究 藤原義一 高桐書院 昭22 六,〇〇〇
 - 74 東洋建築の研究 伊藤忠太 上下合本一冊 美本 龍吟社 昭18 一八,〇〇〇
 - 75 袋い(た)りあり岸田日出刀 相模書房 昭17 二,五〇〇
 - 76 現代住宅の外装 西川友孝 四明社 昭9 二,〇〇〇
 - 77 油画の描き方 山本 鼎 アルス 大11 二,〇〇〇
 - 78 如是経序品 装幀 劉生 登張信一郎 昭18 二,〇〇〇
 - 79 フェリシオン 形 生命 岩波書店 昭51 一,五〇〇
 - 80 彫刻工芸塗飾新法 中澤岩太 (非売品) 昭10 一,〇〇〇
 - 81 画の科学 石井柏亭・西村貞 中央美術社 大14 三,〇〇〇
 - 82 江戸時代図誌 全27冊 筑摩書房 昭53 四,〇〇〇
 - 83 明治大正図誌 全12冊 講談社 昭46 三,〇〇〇
 - 84 日本絵画館 全17冊 清光社 昭18 三,〇〇〇
 - 85 日本書道教育史 奥山錦洞 講談社 昭23 五,〇〇〇
 - 86 歴系統的な教育史提要 小野 久 啓文社 昭13 五,〇〇〇
 - 87 教育事典 水澤金港堂 昭17 二,〇〇〇
 - 88 国民教育の基本的研究 小西薫直 小学館 昭42 六,五〇〇
 - 89 文化教育の新研究 乙岩造 岩波書店 昭7 四,〇〇〇
 - 90 教育と心理のための推計学 岩原信郎 日本文化科学社 昭42 二,五〇〇
 - 91 ヒステリ研究と其療法 杉江 董 高田文盛館 大4 三,〇〇〇

〒606 京都市左京区北白川久保田町64の5
 社会科学系と
外山書店
 電話(〇七五)七〇一六六一七

1 社会史(現代日本文明史) 御田哲二 昭15 一,〇〇〇
 2 世相史(現代日本文明史) 柳田・大藤 昭18 一,〇〇〇
 3 植民史(現代日本文明史) 細川嘉六 昭16 一,〇〇〇
 4 宗教史(現代日本文明史) 姉崎・比屋根 昭16 一,〇〇〇
 5 ジラス・新しい階級 原子林二郎 昭32 三,〇〇〇
 6 無産階級の方角転換 第一分冊北條一雄 大15 二,〇〇〇
 7 黎明 麻生 久 大13 三,〇〇〇
 8 生計費問題 社会政策学会編 大2 二,〇〇〇
 9 西陣業に於ける労働事情(33P) 京都府労働部 昭25 八〇〇
 10 中小工業労働者の生活実態研究 大阪府立商工経済研究所 昭30 二,五〇〇
 11 西郷南洲先生伝南洲神社五十年祭奉賛会 昭2 一,〇〇〇
 12 犬養毅 平沼赳夫 昭50 一,五〇〇
 13 武田慎治郎(武田塾) 日本少年教護協会 昭16 五,〇〇〇
 14 近世欧羅巴植民史I 大川周明 昭16 三,五〇〇
 15 シューマン・ソヴエトの政治 全2冊 渡辺一郎 昭45 二,〇〇〇
 16 日本の法学―回顧と展望― 日本評論社 昭25 二,五〇〇
 17 法律における進化的と普遍的 牧野英一 昭23 三,〇〇〇
 18 訴訟法学の革新―マルクス主義理論と 訴訟法学― 中村宗雄 昭25 三,〇〇〇
 19 刑事訴訟法大綱 宮本英脩 昭11 八,五〇〇
 20 法律上から見た焼跡借地借家権 布施辰治監 大13 二,五〇〇
 21 日本の経済学者 土屋喬雄 昭16 一,〇〇〇
 22 社会主義と基督教の経済倫理 竹中勝男 昭8 二,五〇〇
 23 経済循環の構造 市村眞一 昭30 二,五〇〇
 24 戦争と資本主義 豊崎稔他 昭13 一,八〇〇
 25 マルクス・エンゲルス資本論に関する 岡崎次郎 昭30 三,五〇〇
 26 ルイス女史・ナチ・ヨーロッパの資源と 神野誠治 昭17 四,〇〇〇
 27 ヒトラ政治下独逸資本主義の変貌 日本工業倶楽部調査課 昭16 三,五〇〇

28 マライの資源と貿易 日本貿易振興協会 昭19 二,〇〇〇
 29 現代金融の動態―理論と政策― 香西 泰 昭49 三,〇〇〇
 30 金融機構と金融政策 金融問題研究論集 昭34 一,五〇〇
 31 為替理論と為替問題 谷口吉彦 昭8 四,〇〇〇
 32 日本保険学会創立30周年記念論文集 昭16 五,〇〇〇
 33 ジェス・アメリカ海運政策佐波宣平訳 昭48 四,〇〇〇
 34 経営形態論 占部都美 昭33 四,〇〇〇
 35 批判的経営学 篠原・片岡 昭47 一,五〇〇
 36 青淵論議 洪沢栄一 昭8 二,〇〇〇
 37 近代の偉人故五代友厚伝(改装本) 田中豊治郎 大10 八,五〇〇
 38 片岡健吉先生の生涯 同先生期成会 昭38 三,〇〇〇
 39 福原有信伝 資生堂 昭41 二,五〇〇
 40 ヘンリー・フォード・前進ラチイオ研究部訳 昭7 二,〇〇〇
 41 豊前市産業百年史 広瀬梅次郎 昭41 五,〇〇〇
 42 日本経営者団体発展史 団 森田良雄 昭33 二,五〇〇
 43 京小間物業界の今昔 京都装幀品縫製雑貨協会 昭42 二,八〇〇
 44 創立工周年記念誌 大阪ゴム城物工業協同組合 昭51 二,五〇〇
 45 大阪工業会六十年史 同会 昭49 一,〇〇〇
 46 日本ビルヂング協会連合会三十年史 同協会 昭45 二,五〇〇
 47 協同之精華 朝日協同企業組合 昭50 二,五〇〇
 48 企業組合の十年 京都市 昭35 二,〇〇〇
 49 造船協会四十年史 同協会 昭12 五,〇〇〇
 50 章野崎油研究史料 第二輯 章野崎油協同組合 昭34 四,〇〇〇
 51 明治31年三井銀行營業案内 梅田芳松 昭30 九,〇〇〇
 52 第一銀行史 上下 昭33 三,〇〇〇
 53 第一銀行小史 一九十八年の歩み― 昭48 一,五〇〇
 54 富士銀行の百年 昭55 一,〇〇〇
 55 三和銀行の歴史 昭49 四,〇〇〇
 56 北海道拓殖銀行二十年誌 大9 五,〇〇〇
 57 北海道拓殖銀行史 昭46 四,〇〇〇
 58 広島相互銀行史 昭48 二,五〇〇
 59 越後屋書 豊泉益三 昭30 一,〇〇〇
 60 日本共同証券株式会社史 昭53 一,八〇〇
 61 兼松六十の歩み 昭30 一,〇〇〇
 62 日本製鋼業に於ける八幡鉄の比重 昭3 一,八〇〇
 63 鉄一筋―岡谷鋼機三百年の歩み岡戸武平 昭43 二,〇〇〇
 64 広船の歩み―十年史 三菱造船K K 広島造船所 昭39 三,五〇〇
 65 東燃のあゆみ 自昭44至49 昭49 一,八〇〇

66 10年のあゆみ三協アルミニウム工業K K 昭45 二,五〇〇
 67 日本メルク萬有二十五年史 昭55 一,八〇〇
 68 第三の創業 三星堂八十年史 昭53 二,〇〇〇
 69 日本新都市開発株式会社十年史 昭52 二,〇〇〇
 70 福助足袋の六十年―近世足袋文化史― 昭17 三,五〇〇
 71 スロイン・GMとともに 田中融二 昭48 二,五〇〇
 72 現代農業伝 丸山義二 昭19 二,五〇〇
 73 日本農業と酪農経営 桃山直市 昭28 二,〇〇〇
 74 日本農業の統計的分析 近藤康男編 昭28 二,〇〇〇
 75 日本農業起源論 小野武夫 昭17 一,〇〇〇
 76 日本農業構造論 木下 彰 昭24 一,〇〇〇
 77 農地改革の諸問題―増補― 近藤康男 昭26 二,八〇〇
 78 第五回山村経済実態調査報告書 全国山林会聯合会 昭14 四,五〇〇
 79 食糧自給―可能性と問題点― 近藤康男編 昭42 一,五〇〇
 80 北方農業の経営 安孫子・小森 昭17 五,〇〇〇
 81 京都府の農林水産業 京都府 昭11 三,五〇〇
 82 農村史話 小出満二 昭18 一,〇〇〇
 83 ベロウ・独逸中世農業史 堀米康三訳 昭19 四,〇〇〇
 84 新中国の農業理論 赤津益造 昭28 一,八〇〇
 85 一絲紊れず―蚕糸界の先覚波多野鶴吉― 和田 伝 昭19 二,五〇〇
 86 林業回顧録(中村弥六) 吉田義季 昭5 三,五〇〇
 87 カント美学と目的論 赤松元通 昭23 一,〇〇〇
 88 増訂B式智能検査法指針 田中寛一 昭24 二,五〇〇
 89 犯罪心理学 寺田精一 昭8 二,〇〇〇
 90 発達心理学要論 武政太郎 昭23 二,〇〇〇
 91 教育心理学 玉岡 忍 昭23 二,〇〇〇
 92 人間科学としての心理学 小保内虎夫 昭23 一,五〇〇
 93 現代之心理学 速水 滉 昭16 一,五〇〇
 94 教育哲学 入沢宗昭 昭16 四,〇〇〇
 95 憲法と教育 関口 泰 昭23 一,五〇〇
 96 新教育の手びき 宮本敏行 昭23 二,〇〇〇
 97 先生と父兄のために― 安藤堯雄 昭23 三,〇〇〇
 98 地域開発と教育 教育社会学研究20集 昭40 一,五〇〇
 99 欧州教育の現状と見聞 森 藤吉 昭40 三,〇〇〇
 100 キング・世界の学校教育 池田・沖原訳 昭46 三,〇〇〇
 101 明治憲法下の教育行政の研究 神田 修 昭45 二,五〇〇

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一四
 法律・経済思想
竹岡書店
 電話(〇七五) 七六・一四五五
 振替 京都 四二六二二

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------|--------------------------------|--|---|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|---|--|---|--|--|---------------------------------|----------------------------------|---|--|--|--|-----------------------------|-------------------------------------|----------------------|------------------------------------|
| 1 日本史の歴史 中央公論 全36巻 昭50 1,000 | 2 維新の史蹟 大阪毎日新聞社京都支局 昭14 2,000 | 3 錦とボロの話 龍村平藏 昭45 1,500 | 4 新田開発(日本歴史新書) 菊地利夫 昭38 1,500 | 5 江州商人(日本歴史新書) 江頭恒治 昭40 1,500 | 6 満洲国を語る(国際評論) 鄭・謝他 昭10 1,800 | 7 ホリダーネス 印度の歴史と社会 アフガニスタン協会 昭18 1,800 | 8 ソヴェト社会の探求 園部四郎 昭24 2,000 | 9 郭沫若 日本国民に訴える 平野義太郎 昭28 2,500 | 10 輪中と高潮 伊勢湾台風の記録 伊藤重信 昭51 2,000 | 11 日本共産党の解剖 吉岡信政 昭24 1,800 | 12 共産主義批判全書 同研究会 昭25 2,000 | 13 日本革新の書序論 安藤良信 昭13 2,500 | 14 現代ヨーロッパの精神 加藤周一 昭54 1,500 | 15 現代観念論哲学批判 唯物論研究会 昭25 1,500 | 16 シュプランガー たましいの魔術 篠原正稜 昭26 2,000 | 17 時間場の同論的研究 阿部孫四郎 昭43 2,500 | 18 デブネ 戦争と人 世界大戦後の省察 岡野 馨 昭19 2,500 | 19 日清日露戦歴回顧録 帝国在郷軍人会 上賀茂分會 昭11 2,000 | 20 銃と旗幟と 野間仁根・内海徹・笹岡他 昭18 2,000 | 21 ラスキ 議会・内閣・公務員制 辻・渡辺 昭44 1,500 | 22 憲法的心 田中伊三次 昭34 1,800 | 23 パシユート・ケニー少年を護るために 宮西豊逸 昭44 2,500 | 24 パシユート・ケニー少年非行の美情と対策 宮西豊逸 昭44 2,000 | 25 オコンネル・ゾエデルマン 犯罪捜査の科学 瀧川幸辰 板木郁郎 昭26 2,000 | | | | |
| 26 統一日本指紋法 仁科正次 昭10 1,500 | 27 ゆきとき清談(特製限定本) 瀧川幸辰 昭39 1,800 | 28 断頭臺の運命 木村屯三 昭28 2,000 | 29 人類と環境の歴史的形成 林克也 昭24 2,000 | 30 マンフォード 技術と文明 全3冊 生田勉 昭28 1,000 | 31 科学と歴史 坂田徳男 昭18 1,500 | 32 科学と伝統 杉靖三郎 昭17 2,000 | 33 ベルドロ・鋼鉄王クラブ 村上啓夫 昭14 2,500 | 34 数学思想史序説 近藤洋逸 昭23 2,000 | 35 数学史の方法論 数学の哲学のために 三田博雄 昭23 2,000 | 36 ソヴェトの科学と技術 日本共産党科学技術部 昭25 2,500 | 37 クリスベンドルフ 獨逸の工業地域 石井金之助 昭17 1,500 | 38 近代工業の労働環境 富塚 清 昭24 2,000 | 39 科学技術の書 富塚 清 昭19 1,500 | 40 ウイリアムス 科学的な農業耕作 昭26 2,000 | 41 早魃の克服(新しい農業科学の前進) 吉岡亀井 昭27 1,500 | 42 日本の技術者 星野芳郎 昭47 1,500 | 43 白石・論吉一断片 日本における教育の世界的進歩に対する先駆者の奇典 羽仁五郎 昭43 2,500 | 44 註訓吉田松陰殉国詩歌集 福本義亮 昭12 2,000 | 45 頼山陽(新伝記叢書) 木崎好尚 昭16 1,500 | 46 新日本の光 吉田松陰 田中俊資 昭34 2,000 | 47 坂本龍馬 川本道水 昭44 1,500 | 48 吉田松陰―武と儒による人間像― 河上徹太郎 昭43 1,600 | 49 西田幾多郎と和辻哲郎 高坂正顕 昭49 1,500 | 50 山川均自伝 向坂逸郎・山川菊栄 昭44 2,000 | 51 雑叢―物理屋の随想 山内菊彦 昭45 2,500 | 52 矢内原忠雄―信仰・学問・生涯― 大内・大塚他 昭43 2,500 | 53 回想 鈴木大拙 昭50 2,500 | 54 アドルフ・ヒトラー 我が闘争(独文) 2冊 昭50 2,500 |
| 55 ラングホフ強制收容所の十三ヶ月 舟木・池宮 昭22 1,500 | 56 アドルフ・ヒトラー我が新秩序 堀真琴 昭17 2,500 | 57 日本の思想 筑摩書房 分売 昭45各2,000 | A 最澄・空海集 ① I 秋生徂徠集 ① | B 道之集 ② J 神道思想集 ① | C 親鸞集 ③ K 本居宣長集 ② | D 日蓮集 ④ L 藤原惺窩・中江藤樹・熊沢蕃山・山崎闇斎 ③ | E 方丈記・徒然草 ⑤ 一言芳談集 ④ 山鹿素行・山県大武 ⑤ | F 世阿弥集 ⑥ M 吉田松陰集 ⑥ | G 甲陽軍艦・五輪書・葉隠集 ⑦ N 幕末思想集 ⑦ | H 伊藤仁斎集 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | 現代日本思想大系 筑摩書房 分売 昭46各2,000 | A ナシヨナリズム ④ G ヒューマニズム ① | B 内村鑑三 ⑤ H マルキンズム ② | C 権力の思想 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | D ジャーナリズムの思想 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | E 文学の思想 ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | F アナーキズム ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | G レグゴワール ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | 増補改訂 文化教育学と体験教育 入澤宗壽 昭6 2,000 | 60 都市部落―その歴史と現状― 部 昭34 2,000 | 61 都市部 植民地の人口(人口問題研究資料新書) 上田・窪田 昭19 2,500 | 62 クチンスキー 植民地の人口(人口問題研究資料新書) 上田・窪田 昭19 2,500 | 63 グロウリナチスの哲学と経済 秋沢修二 昭12 2,500 | 64 オルデンブルグ フランス労働運動史 阪本・泉 昭32 2,000 | | | | |

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一五八八
振替 京都 三三三二六

営業時間 午前10時30分〜午後8時30分(平日)
午後1時〜午後8時30分(日・祝日)

定休日 第一・第三木曜日

特集 ロシア語原書

- 1 露露辞典 全4巻 ウシヤコフ 五月書房 昭28 二五,000
- 2 ロシア語IIブルガリア語辞典 一九五〇 二五,000
- 3 11〜12世紀 ロシア語辞典 第五卷 一九六〇 二八,000
- 4 辞学・辞書編集者 ヴィノグラドフ 一九七〇 二〇,000
- 5 教育用辞書編集者のいろいろな問題 一九七〇 二〇,000
- 6 ロシア語同音異義語辞典 アフマーバ 一九七〇 二六,000
- 7 外国人学生のためのロシア語 一九七〇 二〇,000
- 8 ロシア語言語学の諸問題 一九七〇 二〇,000
- 9 言語伝達の意味感覚 アカデミ・ナウク 一九七〇 二〇,000
- 10 ロシア語常用四〇〇〇語 一九七〇 二〇,000
- 11 ロシア語シタックス練習帖 プログレス出版所 一九七〇 二〇,000
- 12 心算とロシア人以外へのロシア語教授法 一九七〇 二〇,000
- 13 ロシア語教授法 アカデミ・ナウク
ロシア語部編 一九七〇 二〇,000
- 14 現代ロシア標準語 グボズジエフ 2冊 一九七〇 二五,000
- 15 ロシア語併用語民族・ロシア語の発展 一九七〇 二〇,000
- 16 現代ロシア語文法 アカデミ・ナウク 一九七〇 二〇,000
- 17 現代ロシア語文法論 ペロシヤブコヴァ 一九七〇 二〇,000
- 18 ロシア語実用文章論 ローゼンタール 一九七〇 二〇,000
- 19 文章とその意味 アルチュノバ 一九七〇 二〇,000
- 20 文科学科外の学生用ロシア語教科書 一九七〇 二〇,000
- 21 大学の外のロシア語を教科書練習問題 アカデミ・ナウク
ロシア語部編 4冊 一九七〇 二〇,000
- 22 みんなでのロシア語を教科書練習問題 4冊 一九七〇 二〇,000
- 23 みんなでのロシア語 一九七〇 二〇,000
- 24 外国人学生のためのロシア語文法 一九七〇 二〇,000
- 25 ロシア語文法論叢 動詞 ボチエニヤ 一九七〇 二〇,000
- 26 ロシア語の文法的規則 アカデミ・ナウク 一九七〇 二〇,000
- 27 ロシア語文法研究 ヴィノグラドフ博士 一九七〇 二〇,000
- 28 19世紀文体発展の類型 ゲイ 一九七〇 二〇,000

- 29 動詞の形と動詞の文体論 アヴィローヴァ 一九七〇 二五,000
- 30 語の外形と動詞の意味論 アヴィローヴァ 一九七〇 二五,000
- 31 ロシア語会話法 アカデミ・ナウク
ロシア語部編 一九七〇 二五,000
- 32 ロシア語会話法文章論 ラブチエヴァ 一九七〇 二八,000
- 33 人間と言語 ブダゴフ 一九七〇 二七,000
- 34 社会言語学研究 アカデミ・ナウク 一九七〇 二五,000
- 35 ポーランド語文法 構造主義と
形式主義 一九七〇 二八,000
- 36 ロシア人論集 形式主義と 一九七〇 二五,000
- 37 ロシア・ローマン主義詩論 マン 一九七〇 二五,000
- 38 児童への詩集 バルトオ 一九七〇 二五,000
- 39 プーシキン詩集 一八二二〜一八二〇 一九七〇 二五,000
- 40 プーシキン詩集 一八二〇〜一八二六 一九七〇 二五,000
- 41 プーシキンの手帖を読んで フェインベルト 一九七〇 二五,000
- 42 ロシア・プーシキン論 ペリンスキー 一九七〇 二五,000
- 43 エウゲニイ・オネーギン プーシキン 一九七〇 二五,000
- 44 現代日本小説研究 ペゴ 一九七〇 二五,000
- 45 日本文学の日記・随筆研究 グレグリアド 一九七〇 二五,000
- 46 世界文学史 分断比較
分断比較 ニエウボコエヴァ 一九七〇 二五,000
- 47 19世紀ロシアの実際の研究法 バイトロフスカヤ 一九七〇 二五,000
- 48 セルゲイ・プロコフイエフの生涯と創作 一九七〇 二五,000
- 49 中世小説 一八五八〜一八六三 トルスストイ 一九七〇 二五,000
- 50 アンナカレニナ トルスストイ 一九七〇 二五,000
- 51 戯曲・中篇小説 トルスストイ 一九七〇 二五,000
- 52 幼年時代 トルスストイ 一九七〇 二五,000
- 53 復活 トルスストイ 一九七〇 二五,000
- 54 戦争と平和 小論 ドリニーナ 一九七〇 二五,000
- 55 虐げられし人々 ドストエフスキー 一九七〇 二五,000
- 56 ロビンソン・クルソー 露訳世界文学文庫 一九七〇 二五,000
- 57 雷雨 オストロフスキー 一九七〇 二五,000
- 58 知恵の悲しみの グリボエドフ 一九七〇 二五,000
- 59 サウス・ポー レスコフ 一九七〇 二五,000
- 60 スチエパン・ラージンズ ロビン 全2冊 一九七〇 二五,000
- 61 マカレンコ教育著作二巻選集 2冊 一九七〇 二五,000
- 62 マカレンコ教育著作二巻選集 2冊 一九七〇 二五,000
- 63 教育叙事詩 マカレンコ 一九七〇 二五,000
- 64 20世紀にマルクス主義 フェドセーエフ 一九七〇 二五,000
- 65 国家統治の方法と形態 一九七〇 二五,000
- 66 政治経済学の資本主義の生産様式 一九七〇 二五,000
- 67 日本外交関係のソ連と日本 一九七〇 二五,000

- 68 支那 過去のある一ページ 一九七〇 二五,000
- 69 ソ同盟行政法 一九七〇 二五,000
- 70 現代国際海上法 一九七〇 二五,000
- 71 ソ同盟改正労働法 一九七〇 二五,000
- 72 小世界地図 一九七〇 二五,000
- 73 性格論の歴史主義の原則 ヴォロビエーヴァ 一九七〇 二五,000
- 74 新世界史 18〜19世紀中学第8級用教科書 一九七〇 二五,000
- 75 ショスタコヴィチ伝 トレチャコフ 一九七〇 二五,000
- 76 ロシア劇場演劇史 一八〇一〜一八二五 一九七〇 二五,000
- 77 ロシア劇場演劇史 一八二六〜一八四五 一九七〇 二五,000
- 78 演劇カレンダー 一九七七年版 一九七〇 二五,000
- 79 ソヴィエトバレエ劇場レニングラード大学 一九七〇 二五,000
- 80 古典バレエ パザーロバ 一九七〇 二五,000
- 81 クラシック・ダンス バザーロバ 一九七〇 二五,000
- 82 パテルブルグのチャイコフスキー 一九七〇 二五,000
- 83 ヨハン・シュトラウス メイリフ 一九七〇 二五,000
- 84 ムラビンスキーの指揮(オーケストラ) 一九七〇 二五,000
- 85 バッハ評伝 モロゾフ 一九七〇 二五,000
- 86 肖像と謎 ラエフスキー 一九七〇 二五,000
- 87 俚諺と謎 東方俚諺・神話研究報告 一九七〇 二五,000
- 88 ロシア文学全集 全35冊 平凡社 昭39 四〇,000
- 89 ロシア文学全集 全35冊 岩波 昭39 四〇,000
- 90 ロシア文化の研究 松本忠司他 博文社 昭53 一〇,000
- 91 ロシア文学の世界 三多秋五 河草書房 昭35 四〇,000
- 92 トルスストイ論 本多秋五 河草書房 昭35 四〇,000
- 93 トルスストイ研究 米川正夫 熊澤復六 昭39 四〇,000
- 94 トルスストイ研究 吉村善夫 新教出版 昭28 四〇,000
- 95 ドストエフスキー 吉村善夫 新教出版 昭28 四〇,000
- 96 ドストエフスキー 吉村善夫 新教出版 昭28 四〇,000
- 97 ドストエフスキー 吉村善夫 新教出版 昭28 四〇,000
- 98 ゴーリキー児童文学論 北村寿夫訳
東洋文庫 筑摩書房 昭41 五〇,000
- 99 ゴーリキーの生涯 佐藤清郎 筑摩書房 昭48 三〇,000
- 100 マヤコフスキー選集 全3冊 関根弘他訳 昭41 七〇,000
- 101 露西亜文法 大倉書店 昭7 七〇,000
- 102 O.E.D. 全15冊 サプリメント付 一九七〇 二五,000
- 103 ブリタニカ 全24冊 本棚付 一九七〇 二五,000
- 104 アメリカナ 全30冊 一九七〇 二五,000
- 105 ウェブスター百科事典 一九七〇 二五,000
- 106 ブック・オブ・ノレッジ 全20冊 一九七〇 二五,000

千600 京都市下京区七条通堀川角

谷書店

電話(〇七五)三六一七六九五
振替 京都 一一一七九



インドミニチュール(細密画) 19世紀

各 25,000円

千602 京都市上京区烏丸通り上御霊前下ル
御霊前町四二二

萩書房

電話(〇七五)四三一一三二七一
振替 京都 八一四三三六

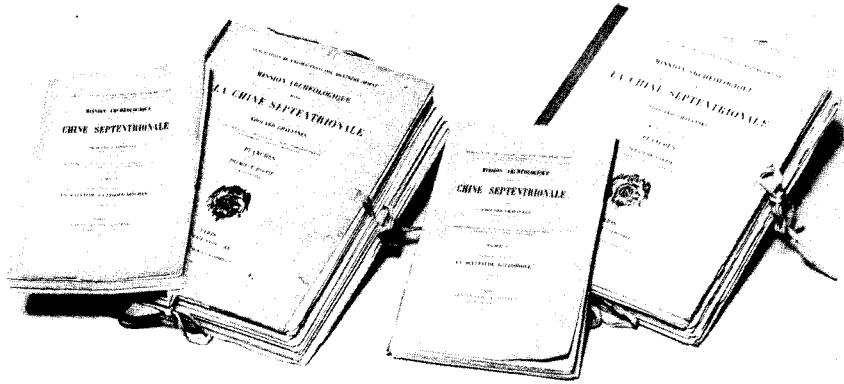
- | | | | | |
|----|---------------------|-----------------|-----|-------|
| 1 | 猫と庄造と一人のをんな | 再版上製本 | 昭21 | 一、五〇〇 |
| 2 | 早春 | 初版函付 | 昭17 | 三、五〇〇 |
| 3 | 沈める瀧 | 初版カバ付 | 昭30 | 一、〇〇〇 |
| 4 | 三熊野詣 | 初版函付 | 昭40 | 四、〇〇〇 |
| 5 | 反貞女大学 | 初版カバ付 | 昭41 | 二、〇〇〇 |
| 6 | 榆家の人々 | 初版函付 | 昭39 | 二、〇〇〇 |
| 7 | 沈黙 | 初版函付 | 昭41 | 一、五〇〇 |
| 8 | 一個その他 | 初版函付 | 昭40 | 一、五〇〇 |
| 9 | 詩への旅詩からの旅 | 初版函付 | 昭49 | 一、五〇〇 |
| 10 | 真書の海への旅 | 初版函付 | 昭50 | 一、五〇〇 |
| 11 | 鳥は巢に未完六道 | 初版函付 | 昭50 | 一、五〇〇 |
| 12 | 文章の道 | 芹澤寛 | 昭14 | 一、五〇〇 |
| 13 | 詩の原理 | 萩原朔太郎 | 昭5 | 一、五〇〇 |
| 14 | 小山内薫 | 印有 | 昭17 | 一、五〇〇 |
| 15 | 山城少塚閑書 | 特製本 | 昭24 | 二、五〇〇 |
| 16 | 三津五郎談 | 特製本 | 昭24 | 二、五〇〇 |
| 17 | 増訂日本色名大鑑 | 上村六郎 | 昭25 | 二、〇〇〇 |
| 18 | 俳画百譚 | 大月隆編 | 昭44 | 一、五〇〇 |
| 19 | 増補地錦抄 | 増補分京都園藝俱樂部叢書第四輯 | 昭10 | 一、五〇〇 |
| 20 | 廣益地錦抄 | 全 | 昭16 | 三、五〇〇 |
| 21 | 菓子園譜 | 辻井盛久編 | 昭35 | 三、〇〇〇 |
| 22 | 菓匠精華 | 石原留治郎 | 昭56 | 三、〇〇〇 |
| 23 | 見山より朝鮮及び朝鮮人 | 杉葉南 | 昭10 | 二、〇〇〇 |
| 24 | 支那研究 | 西湖より | 昭15 | 二、五〇〇 |
| 25 | 東鏡紀行 | 藤田元春成象堂 | 昭17 | 二、五〇〇 |
| 26 | 戦国武将の生活 | 桑田忠親 | 昭17 | 二、〇〇〇 |
| 27 | 禮賢人類学 | 西村真次 | 昭17 | 一、五〇〇 |
| 28 | 禪の面目 | 倉地園照編 | 昭2 | 一、五〇〇 |
| 29 | 清南宇治黄檗の巻 | 白雲庵主人 | 昭15 | 一、〇〇〇 |
| 30 | 京都木材業史 | 京都木材業史後援会 | 昭48 | 一、五〇〇 |
| 31 | 三和銀行の歴史 | 同史編纂委員会 | 昭35 | 二、〇〇〇 |
| 32 | 高島屋美術部五十年史 | 同史編纂委員会 | 昭35 | 四、〇〇〇 |
| 33 | 進歩一世紀市俄高岡博覧會滿洲出品報告書 | 全 | 昭9 | 三、〇〇〇 |

千606 京都市左京区田中里ノ前町55

福田屋書店

電話(〇七五)七八一一三二二六

- | | | | | |
|----|-------------|------------|-----|-------|
| 1 | 帝国地名大辞典 | 全四巻 | 昭35 | 三、〇〇〇 |
| 2 | 本朝人物双伝 | 全16巻 | 昭24 | 五、〇〇〇 |
| 3 | 親鸞聖人研究 | 梅原真隆 | 昭41 | 四、五〇〇 |
| 4 | 通俗伊蘇物語 | 渡部隆 | 昭4 | 三、五〇〇 |
| 5 | 新体梅花詩集 | 中西梅花 | 昭24 | 三、〇〇〇 |
| 6 | 審美綱領 | 上下 | 昭32 | 二、〇〇〇 |
| 7 | 審美極致論 | 森鷗外 | 昭35 | 一、〇〇〇 |
| 8 | 廻真土 | 服部躬治 | 昭34 | 五、〇〇〇 |
| 9 | 山菅 | 昇野天知 | 昭35 | 五、〇〇〇 |
| 10 | まひる野 | 窪田空穂 | 昭38 | 五、〇〇〇 |
| 11 | キイツの詩 | 田山花袋 | 昭38 | 八、〇〇〇 |
| 12 | テニソンの詩 | 片山天絃 | 昭38 | 三、〇〇〇 |
| 13 | 頌栄(宗教詩集) | 一色醒川 | 昭39 | 四、〇〇〇 |
| 14 | 詩集路傍の花 | 川路柳虹 | 昭43 | 五、〇〇〇 |
| 15 | 日本山水論 | 再版 | 昭44 | 四、〇〇〇 |
| 16 | 年中行事唱歌 | 訂正 | 昭44 | 二、五〇〇 |
| 17 | 地理歴史唱歌 | 京都 | 昭44 | 二、〇〇〇 |
| 18 | 高等国語読本唱歌 | 二冊 | 昭44 | 三、〇〇〇 |
| 19 | 尋常小学唱歌 | 第一学年 | 昭41 | 二、〇〇〇 |
| 20 | 卓上 | 1、6六冊 | 昭41 | 二、〇〇〇 |
| 21 | 大衆文芸 | 2の1、1、6 | 昭41 | 二、〇〇〇 |
| 22 | 文芸講談 | 2の1、1、3 | 昭41 | 二、〇〇〇 |
| 23 | 歌集金剛 | 前川佐美雄 | 昭20 | 三、〇〇〇 |
| 24 | 米国幼稚園保育細目 | 伴野福雄 | 昭20 | 一、五〇〇 |
| 25 | 新幼稚園はなし | 長尾豊 | 昭12 | 三、〇〇〇 |
| 26 | 前衛 | 創刊二の4迄 | 昭10 | 三、〇〇〇 |
| 27 | マルクス主義 | 河上肇 | 昭13 | 六、〇〇〇 |
| 28 | 社会問題研究 | 創刊1、18号 | 昭13 | 六、〇〇〇 |
| 29 | 社会主義研究 | 2、3、4、5、6号 | 昭13 | 六、〇〇〇 |
| 30 | 平民科学 | 堀利彦 | 昭13 | 六、〇〇〇 |
| 31 | 平民主義 | 初版 | 昭40 | 八、〇〇〇 |
| 32 | 竇文集 | 初版 | 昭45 | 八、〇〇〇 |
| 33 | 岩内、古宇、俱知安要覽 | 浪越羊酔 | 昭41 | 四、〇〇〇 |



シャバンヌ：北部中国における考古学調査報告

CHAVANNES, Édouard:

MISSION ARCHÉOLOGIQUE DANS LA CHINE SEPTENTRIONALE.

(Publication de l'école française d'extrême-Orient)

Ouvrage publié sous les auspices du Ministère de l'Instruction publique et de l'Académie des Inscriptions et Belles-Lettres. Paris 4 vols.

1,200,000

PLANCHES. 2 vols. 1909

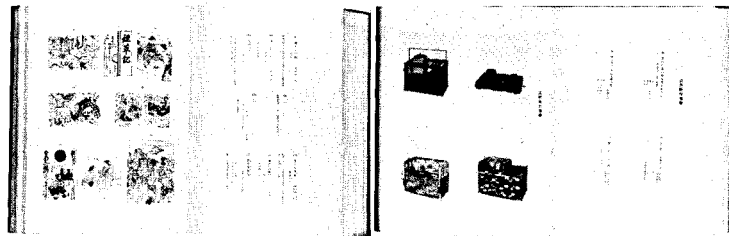
Première section: La sculpture à l'époque des Han.

Troisième section: Sépultures impériales des T'ang et des Song.

TEXTS. 2 vols.

Tome I/1 : La sculpture à l'époque des Han. 1913

Tome I/2 : La sculpture bouddhique. 1915



大日本煙草史料図録 (保存少悪・箱アリ)

専売局 昭9 2冊 150,000円

営業時間 午前十一時—午後八時 定休日 毎週水曜日

〒530 大阪市北区芝田一丁目六番二号

阪急古書のまち

(株) 臨川書店 大阪店

電話 (〇六) 三七四一三〇〇

振替 京都 八〇〇〇番

藤井文政堂

電話(〇七五)三五一九三三
振替 大阪 七三三一一

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

- 1 生命の実相 分類的研究共 揃二十一冊 昭12 七、五〇〇
- 2 泉の力向上読本 谷口雅春 初版 昭13 一、〇〇〇
- 3 叙智の断片 谷口雅春 初版 昭24 一、〇〇〇
- 4 一流の夫妻を作るには 谷口雅春 初版 昭12 一、〇〇〇
- 5 佛敎の把握 谷口雅春 初版 昭14 一、〇〇〇
- 6 光明道中記 谷口雅春 初版 昭14 一、〇〇〇
- 7 折りの科学 谷口雅春 初版 昭17 一、〇〇〇
- 8 人生は心で支配せよ 谷口雅春 初版 昭15 一、〇〇〇
- 9 人生助言 谷口雅春 初版 昭17 一、〇〇〇
- 10 孔子と現代に生かす 谷口雅春 初版 昭13 一、〇〇〇
- 11 光明の健康法 谷口雅春 初版 昭15 一、〇〇〇
- 12 優良児を作る 谷口雅春 初版 昭15 一、〇〇〇
- 13 続人間死人でも死なぬ 谷口雅春 初版 昭14 一、〇〇〇
- 14 老子を現代に生かす 谷口雅春 初版 昭17 一、〇〇〇
- 15 精神分析の話 谷口雅春 初版 昭24 一、〇〇〇
- 16 豊かなる富への鍵 谷口雅春 初版 昭22 一、〇〇〇
- 17 静思集 谷口雅春 汚れ本 昭22 一、〇〇〇
- 18 谷口雅春選集 谷口雅春 昭16 一、〇〇〇
- 19 谷口雅春著作集 分売 各一冊 八〇〇
- 20 調和と生活、弁道聴き書、把住と放行、幸福生活への真理
- 21 実相要約(上)(下)、ひかりの語録、百事如意、実相真行義
- 22 生活化せる大乘仏敎、光明の生活法、生活に生きる宗敎
- 23 人生と恋愛その他、哲学の實踐、樂園奪還、常樂の實現
- 24 永遠価値の生活学、日本の世界的使命、新生活への出発
- 25 註維摩經 安海校正 半紙五冊 四、五〇〇
- 26 唯識三十頌唯中策 大田 半紙 一、五〇〇
- 27 二十唯識論述記 基弁 大本二冊 一、五〇〇
- 28 唯識二十論 元禄版 大本十冊 一、〇〇〇
- 29 成唯識論 (真言) 寛永版 一、五〇〇
- 30 般若心経註 法蔵 延宝版 一、五〇〇
- 31 般若心経疏 宗渤 写本 一、五〇〇
- 32 般若心経註解 宗渤 写本 一、五〇〇
- 33 浄土三藏二教類義 写本 一、〇〇〇

石川古本店

電話(〇七五)七一―一五四二九
振替 京都 七三三〇八九

京都市左京区一乗寺里ノ前町24―12

- 1 俳趣味の發達 麻生磯次 東京堂 昭19 四、五〇〇
- 2 俳句の作り方 富安風生 三省堂 昭15 一、五〇〇
- 3 高浜虚子俳文選集、第四集、虚子 文光堂 昭15 一、〇〇〇
- 4 俳句、芭蕉一代集、桃李庵 新潮社 昭11 一、〇〇〇
- 5 歌の作り方 金子薫園 実業之日本社 昭8 一、〇〇〇
- 6 芳水詩集、夢二装、有本芳水 小山書店 昭19 一、〇〇〇
- 7 詩人哲学者 出隆 美術主義評論社 昭26 三、五〇〇
- 8 現代の日本画家 河原義和 河出書房 昭9 二、五〇〇
- 9 現代日本画壇誌 大山廣光 文明協会 昭3 一、五〇〇
- 10 藝術による生活改造、横山有策 河原書房 昭15 三、五〇〇
- 11 禮の美 長谷川如是閑 龍星閣 昭15 三、五〇〇
- 12 北支と南支の貌 川島理一郎 趣味発行所 昭16 二、〇〇〇
- 13 禅を説く 永井甄吾 龜山市教育委員会 昭51 三、〇〇〇
- 14 龜山の文化財 龜山市教育委員会 昭3 二、〇〇〇
- 15 奈良県文化財目録、奈良県教育委員会 昭15 四、〇〇〇
- 16 恋愛態社会史、武藤直治、文藝資料研究会、谷説編 昭50 一、五〇〇
- 17 舞鶴市史 武説編 明36各三冊 三、〇〇〇
- 18 食道楽、春の巻、秋の巻、冬の巻 全国書房 昭21 四、五〇〇
- 19 オリゲネス研究、有賀鐵太郎、道統社 昭18 一、五〇〇
- 20 輪郭的聖書、ロバート・リー著 傳道出版 昭28 三、〇〇〇
- 21 雑感(劇について)、岩田豊雄 至文堂 昭11 二、〇〇〇
- 22 上方文学と江戸文学、藤村作 日本武敎社 昭26 二、〇〇〇
- 23 日本文名刀傳 大野熊雄 日本武敎社 昭26 二、〇〇〇
- 24 詩集砂金 西條八十 みえ書房 昭24 一、五〇〇
- 25 現代童謡作家選集、藤澤衛彦 成象堂 昭14 三、〇〇〇
- 26 短歌隨見 窪田空穂 紅玉堂 昭4 二、〇〇〇
- 27 人間の生活 武者小路實篤 叢文閣 昭9 二、〇〇〇
- 28 雲莊隨筆 入澤達吉 白楊社 昭10 二、〇〇〇
- 29 財界隨想 郷誠六助 慶應書房 昭14 一、〇〇〇
- 30 龍南人物展望 吉田千之、九州新聞社 昭12 二、五〇〇
- 31 モルガン 澤田謙 萬里閣 昭5 二、〇〇〇
- 32 ラジオ新書39概観明治史、日本放送協会 昭16 一、〇〇〇
- 33 創刊号 美術 昭18 一、五〇〇

井上書店

電話(〇七五)七一―二三五二一
振替 京都 七三三二四九七

〒606 京都市左京区今出川通百万遍東入(京都大学前)

- 1 瀬戸内海 上・下 中国新聞社 昭34 三、〇〇〇
- 2 平田篤胤 山田孝雄 寶文館 昭18 一、〇〇〇
- 3 概説満洲史 大原利武 京城近澤書房 昭8 一、〇〇〇
- 4 アジア周辺民族史 竹尾武 東洋民族史叢書 昭18 一、〇〇〇
- 5 東洋史上の日本民族 鈴木俊東 東洋民族史叢書 昭19 一、〇〇〇
- 6 義経傳 黒板勝美 日本文化名著選 昭14 一、〇〇〇
- 7 毛利元就 瀨川秀雄 日本文化名著選 昭17 一、〇〇〇
- 8 日本精神研究 大川周明 日本週報社 昭32 一、〇〇〇
- 9 二・二六事件 河野宣 人文書院 昭7 一、〇〇〇
- 10 人類生活史 巴陵宣祐 清教社 昭11 一、〇〇〇
- 11 神秘指紋と性格 長谷川瀧浦 大阪婦女新聞社 昭8 一、〇〇〇
- 12 大藏院と女性訓 前科七犯女の懺悔談 大阪婦女新聞社 昭8 一、〇〇〇
- 13 四季の保津川(嵐峡風雅集)長岡夢夢(新書型) 大瀬甚太郎 昭8 二、〇〇〇
- 14 欧米教育史(最近世之部) 大瀬甚太郎 昭8 二、〇〇〇
- 15 歐洲教育史(上古よりベスターンに至る)大瀬甚太郎 昭16 二、〇〇〇
- 16 民謡に生きる 町田佳聲 八十八年の足跡 竹内勉 昭49 一、〇〇〇
- 17 篠山紀信、晴れた日、サイン入 全5冊 昭13 二、〇〇〇
- 18 定版民族日本歴史、白柳秀湖 全28冊 青木書店 昭42 四、〇〇〇
- 19 羽仁五郎歴史論著作集、全4冊 筑摩書房 昭35 六、五〇〇
- 20 世界の歴史 全6冊 番町書房 昭40 五、〇〇〇
- 21 昭和史探訪 全13冊 昭44 六、〇〇〇
- 22 昭和史発掘 松本清張 全13冊 昭40 六、〇〇〇
- 23 蔣介石秘録 1―8巻 全10冊 昭51 八、〇〇〇
- 24 戦後秘史 大森美 全32冊 昭47 一、七〇〇
- 25 デュラント世界の歴史 全32冊 昭46 一、七〇〇
- 26 日本の独占企業 1―5巻、5冊 新日本出版社 昭46 一、七〇〇
- 27 現代日本の政治過程 岡義武 岩波書店 昭41 四、七〇〇
- 28 現代日本地方財政史 中巻 藤田武夫 昭53 四、七〇〇
- 29 現代思想 岩波講座 全12冊 昭32 五、五〇〇
- 30 夢声戦争日記 徳川夢声 全5冊 昭35 三、五〇〇
- 31 岩波講座基礎工学 全19冊 昭47 一、五〇〇
- 32 漱石全集 新書版 岩波書店 全35冊 昭53 二、四〇〇
- 33 錦絵 幕末明治の歴史 講談社 全12冊 昭53 一、七〇〇

〒602 京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話(〇七五)二四一―二五九八

- 1 上代日本染織史 明石 国助 大10 三,五〇〇
- 2 衣服と其変遷 青木 良吉 昭8 三,〇〇〇
- 3 有職故実論集 孔版 山上 忠憲 昭40 四,五〇〇
- 4 日本の染色 函欠 上村 六郎 昭49 三,〇〇〇
- 5 そめもの教室 函欠 古城鴻一郎 昭31 一,五〇〇
- 6 学用色名辞典 瀬川 清子 昭17 二,〇〇〇
- 7 きもの 金田兼之助 昭3 三,五〇〇
- 8 趣味のゴブラン織 少背痛 辻合喜代太郎 昭41 五,〇〇〇
- 9 編 限定 田村 剛大 昭12 二,〇〇〇
- 10 家庭に必要な庭園の知識 齊藤 勝雄 昭18 二,〇〇〇
- 11 庭園新考 上・下二冊 堀口 捨己 昭23 三,五〇〇
- 12 武田吾一博士論文選集 西村 貞 昭28 五,〇〇〇
- 13 草庭 建物と茶の湯研究 重森 三玲 昭21 八,〇〇〇
- 14 民家の庭 石川 芳雄 昭35 八,〇〇〇
- 15 日本の茶席建築 33頁 加藤摩訶蛙 昭17 三,〇〇〇
- 16 日本水泳史 大谷 孝吉 昭30 一,五〇〇
- 17 オヨギ三昧 相撲 奥附欠 荻野 貞行 昭6 一,五〇〇
- 18 日本の伝統 早大庭球部他編 二,〇〇〇
- 19 拳闘の見方 森 秀雄 大15 一,八〇〇
- 20 佐藤次郎 B・ジョーンズ 昭9 二,〇〇〇
- 21 フェアウェイの彼方へ 飛田 穂洲 昭15 一,八〇〇
- 22 野球の知識 小宮 豊隆 昭17 二,五〇〇
- 23 野球清談 鈴木 敏也 昭2 三,五〇〇
- 24 昭和天覧試合 武道宝鑑共 二冊 和田 利男 昭15 三,〇〇〇
- 25 漱石の芸術 松岡 譲 昭16 一,五〇〇
- 26 草枕評釈 少痛 小宮 豊隆 昭13 二,〇〇〇
- 27 漱石漢詩研究 鈴木 敏也 昭2 三,五〇〇
- 28 漱石 人とその文学 小宮 豊隆 昭13 二,〇〇〇
- 29 夏目漱石 滲 小林 孚俊 昭19 三,五〇〇
- 30 坊ちゃん談義 千谷 七郎 昭38 一,五〇〇
- 31 漱石の病跡 夏目 伸六 昭35 三,五〇〇
- 32 猫の墓 昭37 三,五〇〇
- 33 父の法要

- 34 草枕私論 漱石新論 蒲池 正紀 昭48 八〇〇
- 35 夏目漱石読本 福田清人 編 昭33 三,〇〇〇
- 36 あ、漱石山房 松岡 譲 昭46 一,〇〇〇
- 37 文豪夏目漱石 口絵コピー新小説臨時号大6 文芸臨時増刊 昭29 五,〇〇〇
- 38 夏目漱石読本 日夏耿之介 昭19 五,〇〇〇
- 39 蘭外文学 長谷川書店 昭22 三,〇〇〇
- 40 森鷗外研究 唐木順三編 昭34 三,〇〇〇
- 41 森鷗外読本 森 英利 昭32 一,八〇〇
- 42 解剖台を執りて 森 英利 昭32 二,〇〇〇
- 43 父の帽子 河村 敬吉 昭32 二,五〇〇
- 44 若き蘭外の悩み 文芸臨時増刊 昭31 一,〇〇〇
- 45 森鷗外読本 明治文学研究 昭9 三,〇〇〇
- 46 特輯北村透谷 齊藤 弟花 昭17 三,五〇〇
- 47 独歩と武蔵野 坂本 浩 昭25 四,五〇〇
- 48 国木田独歩 土岐 善麿 昭7 二,〇〇〇
- 49 啄木追懐 傍緑和田芳美 昭12 二,〇〇〇
- 50 石川啄木 其生活と芸術 小沢 恒一 昭20 四,〇〇〇
- 51 久遠の青年啄木 橋田 東声 昭4 三,〇〇〇
- 52 子規と節と左千夫 小泉 艾三 昭23 一,五〇〇
- 53 正岡子規 中山省三郎 昭19 二,八〇〇
- 54 長塚節遺稿 齊藤 茂吉 昭18 二,五〇〇
- 55 伊藤左千夫 背汚 山本 英吉 昭21 二,五〇〇
- 56 伊藤左千夫 背汚 木保 修 昭21 五,〇〇〇
- 57 白秋研究 安部 忠三 昭22 二,五〇〇
- 58 晶子とその背景 窪田 空穂 昭25 三,〇〇〇
- 59 与謝野晶子 佐藤 春夫 昭27 一,八〇〇
- 60 晶子曼陀羅 少汚 和田 芳恵 昭50 二,〇〇〇
- 61 小説みだれ髪 佐藤 春夫 昭23 三,〇〇〇
- 62 荷風雜観 中村 光夫 昭27 一,五〇〇
- 63 作家の青春 荷風と漱石 武田 勝彦 昭48 一,五〇〇
- 64 荷風の青春 吉田 精一 昭50 一,〇〇〇
- 65 永井荷風 山本健吉編 昭39 八,〇〇〇
- 66 川端康成 文芸2/8 昭38 三,〇〇〇
- 67 川端康成特集他 全5冊 河出書房 昭15 三,五〇〇
- 68 芸術論 高安 月郊 昭4 三,五〇〇
- 69 日本文芸復興史 大熊 信行 昭6 一,五〇〇
- 70 文学と経済学 森本 忠 昭14 三,五〇〇
- 71 僕の天路歷程 再版 中村福永 昭23 四,五〇〇
- 72 文学的考察1946

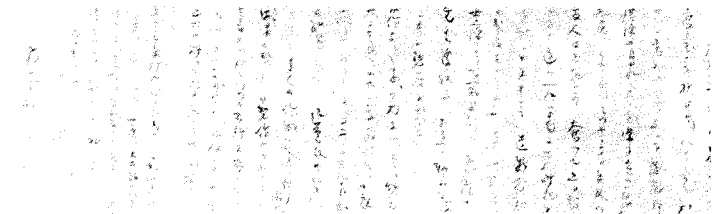
- 73 個性復興 カバー 佐々木基一 昭23 三,〇〇〇
- 74 昭和文学論 三書房 昭29 二,〇〇〇
- 75 日本現代文学史 東大出版 昭26 二,八〇〇
- 76 寺田透文学論集 特製 2冊 寺田 透 昭48 一,〇〇〇
- 77 作家論集 理智と情年 寺田 透 昭48 一,〇〇〇
- 78 戦後の文学 寺田 透 昭48 一,〇〇〇
- 79 「白樺」派の作家と作品 寺田 透 昭48 一,〇〇〇
- 80 童謡賞書 函少痛 寺田 透 昭48 一,〇〇〇
- 81 新児童文化 第三冊 寺田 透 昭48 一,〇〇〇
- 82 ザ・ベスト・オブ・オスカー・ワイルド 巽 聖歌 編 昭16 三,五〇〇
- 83 エドモンド・プラウニング 英語研究 昭2 三,五〇〇
- 84 人生詩人プラウニング 帆足理一郎 大7 二,五〇〇
- 85 近代文学に独逸の影響 植野 修司 昭24 一,五〇〇
- 86 コウルリッチ文学評伝 桂田利吉 昭24 一,五〇〇
- 87 ロシヤ古代叙事詩 植野 修司 昭24 一,五〇〇
- 88 ミルトン研究 越谷 文雄 昭45 一,五〇〇
- 89 新聞切ヌキ再会 全29内26欠 徳田秋声 明治 三,〇〇〇
- 90 新聞切ヌキ再会 横光利一 昭和 三,〇〇〇
- 91 十番隨筆 岡本 綺堂 大13 二,五〇〇
- 92 箕輪心中外七篇 初版函カバー 横光利一 昭和 三,〇〇〇
- 93 鉄舟と次郎長 初版函 横光利一 昭和 三,〇〇〇
- 94 笑ひきれぬ話 初版函 横光利一 昭和 三,〇〇〇
- 95 のらくろ倶楽部 見返切 横光利一 昭和 三,〇〇〇
- 96 新家庭双六 初版函 横光利一 昭和 三,〇〇〇
- 97 敵討鎗諸共 三版函美 横光利一 昭和 三,〇〇〇
- 98 蹴手繰り音頭 初版貸本少汚 長谷川 伸 大15 三,〇〇〇
- 99 聖多黙 贈呈署名皆破損 大下宇陀児 昭16 二,五〇〇
- 100 魂の傀儡師 初版署名 明石 染人 大11 二,五〇〇
- 101 明月 限250贈呈署名美 竹内勝太郎 昭6 三,五〇〇
- 102 日本海流 初版カバー 大江 満雄 昭18 三,〇〇〇
- 103 仙境 初版カバー 丸山 薫 昭23 二,〇〇〇
- 104 野間宏詩集 限定背焼 三書房 昭28 二,〇〇〇
- 105 気遣い部落周遊旅行 初カ きたみひの 昭23 三,〇〇〇
- 106 ずばり東京上下 各初版カバー 開高建 昭39 三,五〇〇
- 107 第四回氷期 初版函 安部 公房 昭34 五,〇〇〇
- 108 玩具 初版カバー 津島 節子 昭40 四,五〇〇
- 109 年の残り 初版カバー 丸谷 才一 昭43 四,五〇〇

文藻堂

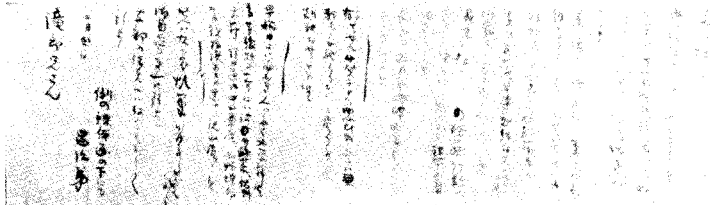
〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル
電話(075-231-1914) 振替 京都8-615

- 4 与謝野鉄幹自筆ハガキ 飛泉宛ペン書8行
- 5 相馬御風自筆ハガキ 飛泉宛毛筆10行 明治 署名昌治
- 6 小島烏水自筆ハガキ 飛泉宛毛筆8行 明治39 署名久太
- 7 小島烏水自筆書翰 飛泉宛毛筆13行余 明38 封筒付 署名久太
- 8 生田葵山自筆書翰宛名「真下瀧二」トアル毛滝郎ノ誤リカ、400字詰ケイ紙 二枚半 封筒付

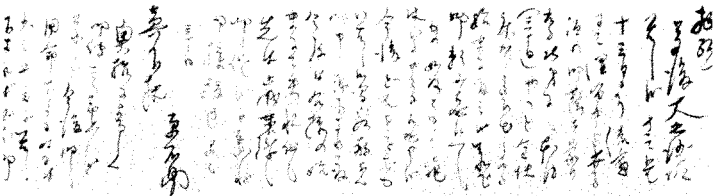
明42 五、〇〇〇円
五、〇〇〇円
三、〇〇〇円
五、〇〇〇円
八、〇〇〇円



1 与謝野鉄幹自筆書翰 真下飛泉(京都、詩人)宛 毛筆44行美品ナルモ等 間隔二薄イ朱ジミ有 一通 25,000円



2 相馬御風自筆書翰 真下飛泉宛(滝郎)毛筆56行、署名昌治 早大時代ノ書翰 写真ムラアルモ美品 一通 20,000円



3 原石鼎自筆書翰 真下飛泉宛 毛筆30行 封筒付 一通 12,000円

- 14 島田左近 短冊 新秋露 署名正辰 折美 一、二、〇〇〇円
- 15 藤井高尚 短冊 花見にと都出ればあり明の 署名詮文 並 一、〇、〇〇〇円
- 16 藤井高雅 短冊 月前雲といふ題にて 署名詮文 並 五、〇〇〇円
- 17 屋代弘賢 短冊 霜水る旅わの 署名詮文 並 五、〇〇〇円
- 18 籠手田安定 短冊 冬の日に心をこめて 極美 八、〇〇〇円



14 島田左近 短冊 新秋露 署名正辰 折美 一、二、〇〇〇円



15 藤井高尚 短冊 花見にと都出ればあり明の 署名詮文 並 一、〇、〇〇〇円



16 藤井高雅 短冊 月前雲といふ題にて 署名詮文 並 五、〇〇〇円



17 屋代弘賢 短冊 霜水る旅わの 署名詮文 並 五、〇〇〇円



18 籠手田安定 短冊 冬の日に心をこめて 極美 八、〇〇〇円

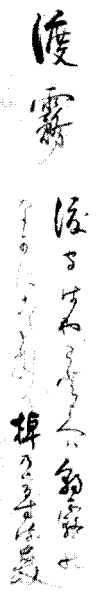
- 9 三島景雄 短冊 山家歳暮 題髪后自覚 美 一、二、〇〇〇円
- 10 僧師準 短冊 我國の花にきくはす草の名の 折美 一、五、〇〇〇円
- 11 穂井田忠友 短冊 渡霧 並 一、五、〇〇〇円
- 12 高橋残夢 短冊 秋夕露 署名正澄 美 一、〇、〇〇〇円
- 13 僧辨玉 短冊 春曙 署名正澄 美 一、〇、〇〇〇円



9 三島景雄 短冊 山家歳暮 題髪后自覚 美 一、二、〇〇〇円



10 僧師準 短冊 我國の花にきくはす草の名の 折美 一、五、〇〇〇円



11 穂井田忠友 短冊 渡霧 並 一、五、〇〇〇円



12 高橋残夢 短冊 秋夕露 署名正澄 美 一、〇、〇〇〇円



13 僧辨玉 短冊 春曙 署名正澄 美 一、〇、〇〇〇円

古書籍 東方書店

電話(〇七五)四九一三二〇七一

千603 京都市北区小山下内河原町六三

| | | | | |
|----|--------------------|-------------|------|--------|
| 1 | 近世教育史 (教科書) | 乙竹岩造 | 昭12 | 三,〇〇〇 |
| 2 | 実演童話新集(一)五・六年ノ上 | 大塚講話会 | 昭11 | 五,〇〇〇 |
| 3 | 新手工科教材及教授法 | 岡山秀吉 改装本 | 大12 | 九,〇〇〇 |
| 4 | 各教科指導要諦 | 京都女子師範附属小学校 | 昭13 | 七,〇〇〇 |
| 5 | 教育史、教育学概論 | 白根孝之 | 昭12 | 一五,〇〇〇 |
| 6 | 人間と地球の生命 | 堺利彦他訳 | 昭2 | 五,〇〇〇 |
| 7 | 花園大学三十年のあゆみ | 其編集委員会 | 昭5 | 五,〇〇〇 |
| 8 | 訂正大正女子修身書 卷一、卷四 | 検定済 | 大7 | 六,〇〇〇 |
| 9 | 優良児童教育第二報告 | 京都師範附属小 | 大14 | 八,〇〇〇 |
| 10 | 優良児童教育第三報告 | 京都師範附属小 | 大12 | 九,〇〇〇 |
| 11 | 女子校用修身教科書 全 | 上級用 | 大7 | 一,五〇〇 |
| 12 | 尋常小字用史附図 上、下 | 大阪府教育会編 | 昭10 | 五,〇〇〇 |
| 13 | 第二次回明神宮競技大会報告書 | 内務省 | 大15 | 一五,〇〇〇 |
| 14 | 国民教育の实践的建設 | 白井勇 | 昭16 | 七,〇〇〇 |
| 15 | 児童宗教教育の理論と実際 | 鈴木積善 | 大10 | 一〇,〇〇〇 |
| 16 | 人格と品性 | 浮田和民 | 大3 | 五,〇〇〇 |
| 17 | 婦人社会衛生学 | 佐藤美実 | 昭20 | 七,〇〇〇 |
| 18 | 新教科書の批判的研究 | 京都府師範附属小 | 昭8 | 八,〇〇〇 |
| 19 | 現代修身教育の帰趨とその実践 | 京都師範附属小 | 昭10 | 六,〇〇〇 |
| 20 | 算術書 第一学年教師用 | 文部省 | 昭12 | 二,五〇〇 |
| 21 | 女子の職業病 | 沢井淳 | 昭18 | 六,〇〇〇 |
| 22 | 男女共学論 | 小泉 昭一 | 昭6 | 九,〇〇〇 |
| 23 | 精神薄弱児及中間児童 | 青木誠四郎 | 昭23 | 四,〇〇〇 |
| 24 | 学校衛生 | 川畑愛義 | 昭24 | 四,〇〇〇 |
| 25 | スベンス教育論 | 市橋義之助 | 昭16 | 八,〇〇〇 |
| 26 | 和歌山心学資料小叢 | 井上豊太郎 | 昭12 | 六,〇〇〇 |
| 27 | 京都府中学校沿革誌 | 校長会編 | 昭33 | 六,〇〇〇 |
| 28 | 割烹指導方案 | 中原イネ | 昭11 | 七,〇〇〇 |
| 29 | 尋、三、運動会新資料大成 | 小学館 | 昭12各 | 五,〇〇〇 |
| 30 | 小学校立立一、二、三、算数科(試案) | 文部省 | 昭26 | 四,〇〇〇 |
| 31 | 京都府立一、二、三、算数科(試案) | 文部省 | 昭26 | 四,〇〇〇 |
| 32 | 作文字類便蒙 | 和 横本 | 明11 | 三,〇〇〇 |
| 33 | 家事提要 全 | 佐方鎮子他 検定済 | 明38 | 四,〇〇〇 |

| | | | | |
|----|-----------------|--------------|-----|--------|
| 34 | 神戸の未解放部落 | 落合重信 | 昭43 | 三,〇〇〇 |
| 35 | 戸板村文書(兵庫神崎郡) | 部落史資料 | 元45 | 三,〇〇〇 |
| 36 | 京都大学大学院白書 | 京大生協 | 元26 | 三,〇〇〇 |
| 37 | 大学院実態調査報告書 | 文部省 | 昭40 | 六,〇〇〇 |
| 38 | 初等科音楽(一) | 文部省 | 昭18 | 二,〇〇〇 |
| 39 | うたのほん(下) | もんぶしゃう | 昭18 | 二,〇〇〇 |
| 40 | 初等科算数(四) 四学年後期 | 文部省 | 昭29 | 三,〇〇〇 |
| 41 | 劇と舞踏 小3 教育技術増刊 | 文部省 | 昭29 | 三,〇〇〇 |
| 42 | 部落の解放と同和教育 | 部落問題研 | 元26 | 三,〇〇〇 |
| 43 | 小学校理科補充教材講話 上、下 | 下青少病ミ | 昭6 | 一〇,〇〇〇 |
| 44 | 改訂新教育史 | 乙竹岩造 検定済 | 昭6 | 四,〇〇〇 |
| 45 | ヘレンケラー自叙伝 | 教文館編集部訳 | 昭10 | 三,五〇〇 |
| 46 | 小学図画工作(4) | 図画工作研 | 昭23 | 二,〇〇〇 |
| 47 | 新訂女子修身教科書(一) | 四井上哲次郎 検定済 | 昭5 | 二,〇〇〇 |
| 48 | 女子図画(2) | 美育振興会 検定済 | 昭5 | 二,〇〇〇 |
| 49 | 現代図画(四) 高女用 | 図画教育研 | 大13 | 二,〇〇〇 |
| 50 | 実用図画(一) | 美育振興会 検定済 | 昭9 | 二,〇〇〇 |
| 51 | 新制用器画(一) | 平井富夫他教育研 検定済 | 昭12 | 二,〇〇〇 |
| 52 | 論理学(教科書) | 乙竹岩造 検定済 | 昭13 | 三,〇〇〇 |
| 53 | 新撰日本地理 | 山上竹次郎 検定済 | 昭15 | 六,〇〇〇 |
| 54 | 師範公民書 | 上、下 文部省 | 昭15 | 五,〇〇〇 |
| 55 | 世界数学史 | 小坂正行 | 昭6 | 六,〇〇〇 |
| 56 | 算術の歴史物語(六年生) | 藤原安次郎 | 昭10 | 四,〇〇〇 |
| 57 | 菊地会誌(京大関係) 一、二号 | | 大12 | 六,〇〇〇 |
| 58 | 女子新制図画(一) | 日本図画手工協会 検定済 | 昭8 | 二,〇〇〇 |
| 59 | 壮丁読本(上) | 樋口勘次郎 | 昭13 | 三,〇〇〇 |
| 60 | 改訂新教育学 | 乙竹岩造 検定済 | 昭13 | 五,〇〇〇 |
| 61 | 各科教授法 | 乙竹岩造 検定済 | 昭13 | 五,〇〇〇 |
| 62 | 女子公民教科書 上、下 | 佐々木惣一 検定済 | 昭7 | 三,五〇〇 |
| 63 | オルガン教科書 | 天谷秀編 検定済 | 明43 | 三,〇〇〇 |
| 64 | 岡山県学事概要 | 岡山県学務部 | 昭12 | 三,〇〇〇 |
| 65 | 中等生史(一) | 文部省 | 昭19 | 二,〇〇〇 |
| 66 | 日本の歴史 | 上、下 文部省 | 昭21 | 二,〇〇〇 |
| 67 | 婦人問題と教育 | 鯉坂国芳 改装本 | 大9 | 八,〇〇〇 |
| 68 | 日本教育発達史 | 玉城 肇 改装本 | 元45 | 七,〇〇〇 |
| 69 | 日本精神病観史資料集成 | 金子準一編 | 昭45 | 五,〇〇〇 |
| 70 | 日本醜聞秘史 | 伊藤紫一 | 昭16 | 八,〇〇〇 |
| 71 | 歴史教育特輯 | 女性史研究 | 昭12 | 三,〇〇〇 |
| 72 | 教育心理 上、下 | 文部省 | 昭23 | 四,〇〇〇 |

| | | | | |
|-----|--------------|------------------|-----|--------|
| 73 | 燈臺生活二十二年 | 橋本喜之助 | 昭18 | 四,〇〇〇 |
| 74 | 20の扉 | 保育社編 | 昭23 | 三,〇〇〇 |
| 75 | われ等の陸海軍 | 平田晋策 | 昭14 | 四,五〇〇 |
| 76 | 小説公園 | 創刊号 | 昭25 | 一,五〇〇 |
| 77 | 蒸気機関発達史 | 山崎敏夫訳 | 昭19 | 八,〇〇〇 |
| 78 | 京都細見 | 北尾鏡之助 | 昭23 | 一,五〇〇 |
| 79 | 京舞妓十二月 | 吉川親方 | 昭31 | 三,〇〇〇 |
| 80 | 植物学九十年 | 牧野富太郎 | 昭13 | 二,五〇〇 |
| 81 | 最新支那旅行案内 | 後藤朝太郎 | 昭13 | 二,〇〇〇 |
| 82 | 若狭紀行 | 近畿観覧第八篇 北尾鏡之助 初刷 | 昭15 | 三,五〇〇 |
| 83 | 増補岐阜県案内 | 全 岐阜県農会 | 明35 | 九,〇〇〇 |
| 84 | 朝鮮金剛山探勝記 | 菊池幽芳 初 | 大7 | 四,五〇〇 |
| 85 | 郷土資料京城五百年 | 京城学校教員会 | 大15 | 四,五〇〇 |
| 86 | 西洋道中膝栗毛 | 全 仮名垣魯文 初 | 大15 | 五,〇〇〇 |
| 87 | 朝鮮より | 宮原小治郎 初 | 大4 | 五,〇〇〇 |
| 88 | 新しく見た朝鮮 | 西村真琴 初 | 昭9 | 七,〇〇〇 |
| 89 | 山陽行脚付東海道行脚 | 木版入り エフ、スタイル | 大6 | 一〇,〇〇〇 |
| 90 | 名古屋商工業案内 | 第六版 名古屋商業会議所 | 大6 | 一〇,〇〇〇 |
| 91 | 理髪学通信教科書 | 一、二、三号 帝國理髪学校 | 大15 | 八,〇〇〇 |
| 92 | 看護兵教程 | 兵用図書発行 初 | 昭13 | 三,〇〇〇 |
| 93 | 別府温泉誌 | 佐藤蔵太郎 | 明42 | 三,〇〇〇 |
| 94 | 救急手当調剤撰生法 | 小西信良 | 大2 | 三,〇〇〇 |
| 95 | 列強の空軍 | アサヒグラフ編 | 昭14 | 五,〇〇〇 |
| 96 | 最新百科社会辞典 | 改造社版 | 昭7 | 三,〇〇〇 |
| 97 | 越中伝説集 | 富山郷土研究会 | 昭12 | 四,〇〇〇 |
| 98 | 名古屋案内 | 扶桑新聞社 | 明43 | 三,〇〇〇 |
| 99 | 維新の大阪 | 鷺谷榜風 | 昭17 | 三,〇〇〇 |
| 100 | 夜の大阪 | 秋田真四 | 大9 | 三,〇〇〇 |
| 101 | 牛 | 岡本米蔵 | 大5 | 三,〇〇〇 |
| 102 | 性行辞典 | 友田宜剛 | 昭16 | 三,〇〇〇 |
| 103 | 武家格例式(完) | 和 横本 | 昭5 | 八,〇〇〇 |
| 104 | 社会運動取締関係法規便覧 | 井沢猛 | 昭2 | 五,〇〇〇 |
| 105 | 露山美術、二号 | 露山美術社 | 昭2 | 四,〇〇〇 |
| 106 | アホダラ笑訓 | 岡部栄信 合本 | 昭6 | 四,〇〇〇 |
| 107 | 飛行機断図集 | 少年俱樂部付録 | 昭6 | 三,五〇〇 |
| 108 | 自習絵手本 | 少女俱樂部付録 | 昭6 | 三,五〇〇 |
| 109 | 全国金満家大番附 | 講談俱樂部付録 | 昭6 | 三,五〇〇 |
| 110 | 少年博物館 | 少年クラブ付録 | 昭27 | 三,〇〇〇 |
| 111 | 新日本見学地図 | 少年クラブ付録 | 昭27 | 三,〇〇〇 |

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル

(朝日会館前)

キク才書店

電話(〇七五)二二二七六三四
振替 京都 一七六四〇

〔国史関係絶版叢書・雑誌分売特集〕

〇歴史公論

雄山閣

- 1 文武抗争史特輯 昭8 一、五〇〇
- 2 食物の変遷特輯 昭10 二、八〇〇
- 3 怪異思想研究特輯 昭10 一、八〇〇
- 4 概観日本史論特輯 昭11 一、五〇〇
- 5 記紀の研究特輯 昭11 一、五〇〇
- 6 豊臣秀吉特輯 昭11 一、八〇〇
- 7 弓矢の研究特輯 昭11 一、八〇〇
- 8 相撲の変遷特輯 昭11 一、八〇〇
- 9 祝祭日の知識特輯 昭11 一、五〇〇
- 10 仇討特輯 昭11 一、五〇〇
- 11 海特輯 昭11 一、五〇〇
- 12 伝教大師特輯 昭12 一、八〇〇
- 13 自由評論特輯 昭12 一、三〇〇
- 14 支那の歴史と地理特輯 昭13 一、三〇〇
- 15 日本学の確立特輯 昭13 一、三〇〇
- 16 趣味の陶磁器特輯 昭13 一、三〇〇
- 17 系譜と紋章の研究法特輯 昭14 一、八〇〇
- 〇日本歴史全書 三笠書房
- 18 日本中世史 遠藤元男・渡辺保 昭14 一、五〇〇
- 19 日本封建制成立史 遠藤元男 昭14 一、四〇〇
- 20 日本近世史 北高正元 昭14 一、五〇〇
- 21 日本近代史 小西四郎 昭15 一、五〇〇
- 22 日本近代外交史 丸山固雄 昭15 一、八〇〇
- 23 日本資本主義発達史 成瀬秀雄・仁藤潔 昭15 一、三〇〇
- 24 国学論 山本正秀・渡辺秀 (背痛) 昭14 一、〇〇〇
- 25 日本儒教論 萬羽正朋 昭14 一、三〇〇
- 26 日本中世思潮芸術 菅原教信 昭14 一、五〇〇
- 27 日本近世芸術 菅原教信 昭14 一、五〇〇
- 28 日本近代文芸 大久保利謙 昭14 一、六〇〇
- 〇日本文化名書選 創元社
- 29 言語に映じたる原人の思想 金沢庄三郎 昭16 四、〇〇〇

- 30 東亜文明の黎明 浜田青陵 昭14 二、〇〇〇
- 31 国史上の社会問題 三浦周行 昭13 一、五〇〇
- 32 日本国民生活の発達 内田銀蔵 昭16 二、五〇〇
- 33 日本経済史概要 内田銀蔵 昭14 一、五〇〇
- 34 日本法制史 三浦周行 昭14 一、五〇〇
- 35 日本中世史 原 勝郎 昭18 一、五〇〇
- 36 日本に於ける武家政治の歴史 新見吉治 昭16 三、〇〇〇
- 37 武家時代と禅僧 辻善之助 昭16 三、八〇〇
- 38 武田信玄の経綸と修養 渡辺世祐 昭18 二、〇〇〇
- 39 白河樂翁公と徳川時代 二上参次 昭15 一、八〇〇
- 40 近世の日本 内田銀蔵 昭13 一、五〇〇
- 41 日本と泰國との關係 内田銀蔵 昭16 一、八〇〇
- 42 西洋文化と日本 齋藤阿具 昭16 二、八〇〇
- 〇日本歴史新書 至文堂
- 43 日本民族 水野 祐 昭44 一、八〇〇
- 44 登呂の遺跡―弥生時代の生活 駒井和愛 昭34 三、〇〇〇
- 45 北九州の古代遺跡―埴原集落集落― 鏡山 猛 昭34 二、三〇〇
- 46 古代人の生活 直良信夫 昭38 二、〇〇〇
- 47 牛と古代人の生活―短歌に於ける― 佐伯有清 昭42 二、〇〇〇
- 48 古代の税制 田名網宏 昭40 一、八〇〇
- 49 古代の服飾 猪熊兼繁 昭41 二、〇〇〇
- 50 古事記 川副武胤 昭41 一、八〇〇
- 51 上代の土地制度 今宮 新 昭33 一、九〇〇
- 52 国造と県主 新野直吉 昭41 一、八〇〇
- 53 東大寺と国分寺 石田茂作 昭34 一、八〇〇
- 54 平安時代の貴族の生活 藤木邦彦 昭35 二、〇〇〇
- 55 平安時代の文化 中村直勝 昭41 二、〇〇〇
- 56 院政 吉村茂樹 昭33 一、八〇〇
- 57 南北朝論―史実と思想― 村田正志 昭34 一、八〇〇
- 58 僧兵 勝野隆信 昭34 一、九〇〇
- 59 倭寇と勘合貿易 田中健夫 昭36 一、二〇〇
- 60 日本のお海賊 長沼賢海 昭34 三、〇〇〇
- 61 蒙古襲来 龍 肅 昭34 一、九〇〇
- 62 中世の商業 佐々木銀弥 昭41 二、〇〇〇
- 63 徳政と土 揆 中村吉治 昭34 一、八〇〇
- 64 惣領制 羽下徳彦 昭41 一、九〇〇
- 65 キリシタン大名 吉田小五郎 昭34 一、六〇〇
- 66 新井白石 宮崎道生 昭34 一、六〇〇
- 67 明治天皇 木村 毅 昭33 一、六〇〇

- 68 文明開化―百年日本の源と変遷― 木村 毅 昭29 二、三〇〇
- 69 明治外交史 英 修道 昭35 一、八〇〇
- 70 明治憲法の出来るまで 大久保利謙 昭33 一、九〇〇
- 71 明治時代の新聞と雑誌 西田長寿 昭41 二、八〇〇
- 72 世界史上より見たる日露戦争 黒羽 茂 昭35 一、八〇〇
- 73 日本と朝鮮 中村栄孝 昭41 二、五〇〇
- 74 五山文学―大陸文化植民地としての五山僧侶の活動― 玉村竹二 昭34 二、五〇〇
- 75 南蛮文化―日欧文化交流― 海老沢有道 昭33 二、〇〇〇
- 76 洋学伝来の歴史 沼田次郎 昭35 二、三〇〇
- 77 日本の医学―その流れと発展― 石原 明 昭34 二、〇〇〇
- 78 寺子屋―庶民教育機関― 石川 謙 昭35 二、〇〇〇
- 79 和算の歴史―その本質と発展― 平山 謙 昭38 二、〇〇〇
- 80 金沢文庫と足利学校 結成陸郎 昭34 二、〇〇〇
- 81 日本的人口 関山直太郎 昭34 二、〇〇〇
- 82 饑饉の歴史 荒川秀俊 昭42 二、三〇〇
- 83 人身売買―海外出稼ぎ― 森 克己 昭35 二、五〇〇
- 84 漂流―鎖国時代の海外発展― 鮎沢信太郎 昭33 二、〇〇〇
- 85 江戸時代の農民 安藤精一 昭34 二、〇〇〇
- 86 駆入り農民史 阿部善雄 昭40 二、五〇〇
- 87 農具の歴史 鑄方貞亮 昭33 二、三〇〇
- 88 漁業の歴史 清水昭夫 昭33 二、三〇〇
- 89 米の歴史 永井威三郎 昭34 二、〇〇〇
- 90 日本のお貨幣 小葉田 淳 昭33 二、〇〇〇
- 91 鉾山の歴史 小葉田 淳 昭34 二、〇〇〇
- 92 日本のお路 大島延次郎 昭41 二、〇〇〇
- 93 社寺と交通―鹿野経と舟繋り― 新城常二 昭41 一、七〇〇
- 94 年中行事 和歌森太郎 昭33 二、〇〇〇
- 95 染織の歴史 三瓶孝子 昭41 二、五〇〇
- 96 障壁面 土居次義 昭41 一、六〇〇
- 97 日本のお庭園―京都の寺院を中心として― 吉水義信 昭33 二、〇〇〇
- 98 浮世絵 近藤市太郎 昭33 二、〇〇〇
- 99 蝦夷地 高倉新一郎 昭34 二、五〇〇
- 100 奥州平泉 板橋 源 昭36 一、六〇〇
- 101 大阪 宮本又次 昭34 二、三〇〇
- 102 瀬戸内海の歴史 河合健次 昭42 二、三〇〇
- 103 長崎 箭内健次 昭34 二、〇〇〇
- 104 琉球の歴史 東恩納寛惇 昭34 二、五〇〇
- 105 町人文化 石田・良 昭36 二、五〇〇
- 106 曆 能田忠亮 昭47 二、五〇〇

八木書店古書部

電話(〇七五)八二一三八九〇

〒604 中京区丸太町通千本西入南側

- 1 一平全集 11冊379.10欠 漫画家 昭5 二、〇〇〇
- 2 映画と劇 初版 速水清 映画俳優一覽有 大14 三、〇〇〇
- 3 布氏道徳学 フリツケ 松田訳 明21 三、八〇〇
- 4 化粧箱 初版 竹内勇太郎戯曲集 昭30 三、〇〇〇
- 5 石造美術と京都 川勝政太郎 昭21 三、〇〇〇
- 6 現代社会問題研究(風俗問題) 建部達吾 大10 三、〇〇〇
- 7 昭電疑獄の全貌 沢敏三 昭24 三、〇〇〇
- 8 食通談 読売新聞婦人部 汚 昭12 三、〇〇〇
- 9 美味珍味 読売新聞記者 昭2 三、〇〇〇
- 10 ケネー経済表研究 越村信三郎 昭22 三、〇〇〇
- 11 ウイリアムス社会主義英訳 市川泰治郎 昭24 三、〇〇〇
- 12 詩集枇杷 藤井芳 昭8 三、〇〇〇
- 13 文芸復興より啓蒙思想へ 角山栄 昭24 三、〇〇〇
- 14 今日及び明日の教育 ムーア編 大久保訳 昭24 三、〇〇〇
- 15 児童読物の選び方 宮下正美 昭14 三、〇〇〇
- 16 軍令及軍律兵士の巻(救世軍) 山室軍平 大15 三、〇〇〇
- 17 歩兵第33聯隊史(三重県津) 背傷 大9 三、〇〇〇
- 18 新教育論 長田新 初版 昭14 三、〇〇〇
- 19 読書法 遠藤隆吉 初版 大4 三、〇〇〇
- 20 梨の葉集 岡本綺堂 戯曲集 大8 三、〇〇〇
- 21 別れ出舟 伊豆大島歌謡集 長田幹彦初版 昭11 三、〇〇〇
- 22 貴族院要覽 乙 大14 三、〇〇〇
- 23 南宗画小本 110頁 青木小四郎 初版 大5 三、〇〇〇
- 24 関西文学散步 野田宇太郎 普及版背傷 昭34 三、〇〇〇
- 25 野道 堀長雄 養徳叢書 昭21 三、〇〇〇
- 26 東海野道四谷怪談 南北作 初版 大16 三、〇〇〇
- 27 一老政治家の回想 古島一雄 昭24 三、〇〇〇
- 28 人物大気 斎藤信也 昭25 三、〇〇〇
- 29 現代俳句双墨 原鍾生編集 汚 昭42 三、〇〇〇
- 30 慶応義塾50年史 汚 明40 三、〇〇〇
- 31 高橋真秀諸記 天理教越之國教会教養刊 昭34 三、〇〇〇
- 32 近世禅林僧宝伝2冊中巻欠 獨園和高著 明23 三、〇〇〇
- 33 民間伝承10巻1号氏神特輯 柳田國男編 昭19 三、〇〇〇
- 34 絵入人道24款状集書 江戸末岡三、〇〇〇
- 35 橋守部大人白筆遺稿展覧入札目録 昭14 二、〇〇〇
- 36 中央美術二科院展覧 大11 二、〇〇〇
- 37 夢想兵衛胡蝶物語 曲亭藏著 明19 三、〇〇〇
- 38 城の歴史 小川煙村 初版汚傷 明43 二、〇〇〇
- 39 綱目抄 岡山県教育会刊 明26 三、〇〇〇
- 40 細井日抄 四冊揃題教学妙法蓮華台登云々 寛永8 八、〇〇〇
- 41 近世発句明治50題上下2冊一事百古選 明17 三、〇〇〇
- 42 官版輿地誌略10冊銅版絵入内出正雄 明31 八、〇〇〇
- 43 杜詩講義 和木 三宅小太郎 非売品 大9 二、〇〇〇
- 44 古今八卦大全 6冊揃 中野版 寛文11 八、〇〇〇
- 45 古今餘材鈔八冊二冊欠 大虫入写本 江戸末五、〇〇〇
- 46 軍隊調理法 糧友会刊 昭15 八、〇〇〇
- 47 茶道早学 3冊2編上欠本狩野宗朴 明16 三、〇〇〇
- 48 新體詩集 筑波紫 清水橋村 初版 明41 三、八〇〇
- 49 明治孝節録 四冊 近藤芳樹編 明10 三、〇〇〇
- 50 石門心字道の話 9冊不揃奥田寿太講話 弘化4 三、〇〇〇
- 51 官令全書 太政官告示 慶応3 明14 三、〇〇〇
- 52 釈教諸宗録 大村西崖観山共撰 明29 二、〇〇〇
- 53 子規書簡集上册 子規遺稿高浜清 初版 明40 八、〇〇〇
- 54 立皇后次第 銅版坊官藤原房武華 寛政6 五、〇〇〇
- 55 新撰造化懐任論銅版絵入 小本 江戸末三、〇〇〇
- 56 新撰造化懐任論銅版絵入 小本 明18 五、〇〇〇
- 57 准提觀自在尊薬師琉璃光如来修行法堯觀筆 萬延元 三、〇〇〇
- 58 新刀匠白鞘 草紙本雜寶柳著 虫入 明16 二、〇〇〇
- 59 稲苗新語 豊後丸山祐義著 虫入 明8 二、〇〇〇
- 60 新論 会沢著 水戸彰考館 写本しみ有 文政8 二、〇〇〇
- 61 面引十體千字文綱目 嘉永2 三、〇〇〇
- 62 越前手漉紙本集 江戸末三、〇〇〇
- 63 教誡日徒信波歌邪正辨中下2冊 日蓮宗 明40 三、〇〇〇
- 64 明治新撰立生千華式(池坊100図) 保5 八、〇〇〇
- 65 選撰集句香記 大版生園塊園粹葵句会 明26 三、〇〇〇
- 66 今人笑問会 大版生園塊園粹葵句会 大3・3月阿波 三、〇〇〇
- 67 四国88ヶ所巡拝日誌 明26 五、〇〇〇
- 68 慶長以来小説家著述目録 初版中根康治 宝永7 三、〇〇〇
- 69 佛語古今抄上巻再撰貞享式日之一 明2 五、〇〇〇
- 70 八山人紀行白雲日記(東海道)尾張羽衣春隆 大13 三、〇〇〇
- 71 西国33ヶ所奉納帖(朱印帳) 文久2 三、〇〇〇
- 72 薩摩藩家中高名簿
- 72 12光義遺芳録 離塵師 宝曆7 三、〇〇〇
- 73 滝川愚仙選句 遼東新報社菊選句評 明治末 五、〇〇〇
- 74 関通上人 後世之土産 浄土宗本 明治初 三、〇〇〇
- 75 蒙窓に於ける最近の考古学的発見水野日比野共著 昭18 二、〇〇〇
- 76 英文日本書目年報 昭10版 昭17 三、〇〇〇
- 77 アメリカ伝統の手芸研究 コロラド刊 一九〇四年 八、〇〇〇
- 78 親と教師に語るホーミ著小此木訳 昭25 二、〇〇〇
- 79 萬葉集原文頭註評釈研究 久松潜一 昭16 三、〇〇〇
- 80 支那經濟小観 堀江婦一 大8 三、〇〇〇
- 81 中国人的日本観(中国語) 魚返善雄編 昭18 三、〇〇〇
- 82 武蔵元信論文集 金沢市刊非売品 昭4 三、八〇〇
- 83 親鸞 浪六 初版 背傷 昭3 三、〇〇〇
- 84 支那綺談阿片室 後藤朝太郎 昭6 三、〇〇〇
- 85 戯曲 法然上人 寺西飛水 昭3 三、〇〇〇
- 86 田能村直入筆 南宗画四君子手帖肉筆 江戸中刊 三、〇〇〇
- 87 大明三藏聖教目録 乾坤2冊 江府中刊 五、〇〇〇
- 88 歴代諱字譜上下2冊 小雙寂庵刊 江府中刊 五、〇〇〇
- 89 百人一首 下巻 瀧川時記筆 写本虫入 文政8 三、八〇〇
- 90 月居筆 句入り楊柳歌長詞一幅 八、〇〇〇
- 91 狩野法眼伊川筆 日之出寿老人亀に乗る図一紙汚欠 八、〇〇〇
- 92 富士越龍之図 木版仏信画於大雲院内娘白雲之図一紙 明12 八、〇〇〇
- 93 大阪錦画新話 木版仏信画於大雲院内娘白雲之図一紙 三、〇〇〇
- 94 中国民画墨摺 和合神像一紙 三、〇〇〇
- 95 西郷從通筆 巨椋湖之詩 小品一紙 三、〇〇〇
- 96 京東町奉行与力平塚龜齊筆 俳句一紙 明8 五、〇〇〇
- 97 伏水伏見(南浜)校正尾越強賞一紙 小品 明5 頃 三、〇〇〇
- 98 伊勢国白子町杉紙商社尾家銅版一紙 三、〇〇〇
- 99 東山長楽門山温泉図一紙 小品 明治初 三、〇〇〇
- 100 新京極和泉式部本堂柳合觀音白湯遍念仏案内 明治初 三、〇〇〇
- 101 三尊弥陀如来墨摺一幅上部に如来牛王印有 五、〇〇〇
- 102 真如堂弥陀觀音不動三尊仏并和歌贊墨摺一幅 五、〇〇〇
- 103 真如堂弥陀仏并6字名号墨摺并宗心肉筆和歌一幅五、〇〇〇
- 104 南禅寺大休老師筆 詩一行一紙 小品 五、〇〇〇
- 105 岡本黄石筆 三行詩 一絹 三、〇〇〇
- 106 日野大納言筆 南面贊 一幅 折傷有 三、〇〇〇
- 107 天華書(永観堂に墓有) 古體書一幅 三、八〇〇
- 108 松橋豊放筆 二社神 一幅 五、〇〇〇
- 109 立雛之図 一幅 江戸末 一五、〇〇〇

増訂 寰宇貞石圖

河井荃蘆監修 藤原楚水纂輯

上古から漢魏六朝、唐代また日本・朝鮮の著名石刻を加えた四七〇余种・六〇〇余図を集大成。今日では伝説的存在である昭和十四年版に新たに詳細な解説を付し、原本全四冊を合本復刻。書道家研究者必携の大巻!!
豪華愛蔵版 定価六万五千円

篆書字典

大南熙永編／「六書通」「正字通」「康熙字典」等を典拠に、大家・小篆・籀を網羅 八〇〇〇円

篆楷字典

丘襄二著／判読が難しい篆を楷書でわかり易く読めるように編んだ篆書解説字典 五〇〇〇円

渡辺華山錦心図譜

編纂代表 鈴木栄之亮

本書は昭和十五年東京美術倶楽部で開かれた没後百年大展示会に出陳された華山の代表作を特写、これを編纂したものである。付冊「華山を語る」(講演集)
B4判・変型函入 上下二巻 揃価八万五千円

酒井抱一画集

付巻・抱一上人真蹟鏡二冊 鶯郵画譜一冊
日本の芸苑に繚乱と咲き誇る淋派晩期の巨匠酒井抱一のこれまで門外不出の逸品を集める。斯界の権威田中松氏の細密な校閲を受ける。
A3判・四方帙入 付巻和綴巻帙入 定価十九万八千円

国書刊行会

*注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。
〒170 東京都豊島区巣鴨3-5-18 電話03(917)8287

近世史・出版文化史研究者待望の書!
宗政五十緒 著

近世京都出版文化の研究

本書は、近世京都の出版の諸相を、豊富な資料にもとづいて、文学史・思想史・文化史の広い視点から論究する。著者積年の貴重な研究成果であり、出版文化史の研究者にとって待望の書である。

- A5 / 四六六頁 / 上製美麗貼函入り
- 定価九、〇〇〇円 好評発売中!

株式会社 同朋舎出版

本社 〒600 京都市下京区中堂寺鍵田町2
電話(075)343-0621 振替・京都22982
東京支店 〒101 東京都千代田区三崎町3-7-12
清話会ビル5階 電話(03)234-4982

新刊

黄帝神技三元奇門遁甲術

楠 羅山著 ○代々継承されたる真義秘伝公開!
○千支曆万年盤表附
A5版 二二〇頁 定価 四、五〇〇円
正胎真理 生田開山著 四〇〇円

新刊

陰陽道経学終論

○陰陽五行学の原理原則 定価 三、五〇〇円
A5版 二一〇頁 三五〇円
藪田曜山著(家伝部康節先生心易卦数)

再版

譯註 梅花心易

増補 三訂 四柱推命奥義秘伝録 A5版 四〇〇頁 四〇〇円
A5版 一七八頁 定価三、〇〇〇円
三五〇円
松本義亮著 定価四、〇〇〇円

三密堂書店

〒600 京都市下京区
寺町仏光寺
TEL. 075-351-9663
振替 京都3471

最新刊

詩的言語序説

内外の作者作品をとりあけながら、言語と文芸、宗教と言語の本質を説く。

小田良弼著

限定スバル

自創刊号(明治42年) 全十帙
五巻十二号(大正2年)終刊迄 六十冊
本誌の出現が鶴外の創作活動の最盛期をもたらしたことは人の知るところである。

英文ジョージ・ムーア全集

世紀末から現代への英国文芸思潮の変遷を身をもって示した作家ジョージ・ムーア。
全巻原寸大(菊判)総一三、三六八頁・麻布織帙装/定価セット二〇〇、〇〇〇円

中国詩學概説

森槐南の講義録である唐・宋・元・明・清詩学及び毛詩学総論を収む。

神田喜一郎編

碧山日録

臨済宗桂昌門派の僧太極の日記。記事は長祿三年から応仁二年に及ぶ。

齊藤 忠編

日本古墳文化資料綜覧

日本古墳文化のすべてを採る「文献・遺跡・遺物を綜覧する唯一の書」。

羽田 明著

中央アジア史研究

著者の卓越した研究方法によって中央アジア史の大勢を的確に叙述する。

羽田 明著

衆議院議員會議録

帝國議會 衆議院議員會議録 全五十巻 続刊中(既刊16冊)

貴族院議員會議録

帝國議會 貴族院議員會議録 全五十巻 続刊中(既刊16冊)

ニヤイヤ・ストロ並びに諸註釈

ニヤイヤ学派の学説綱要、「定句集」に三種の評釈・注釈を対応させた。

梅尾祥瑞編

梅尾祥雲全集 別巻(I)

著者の遺稿「秘密集会経要略」「聖文殊真実名義経の研究」他二篇を収む。

梅尾祥瑞編



臨川書店

本社 東京都左京区今出川通川端東入50M
東京支店 千代田区飯田橋四一七一六曙ビル
☎075 781 6166
☎03 263 4320

能勢朝次著作集

全10巻

6能楽研究(三)
〈配本中〉

■既刊 2中世文学研究/10俳諧研究(二)/4能楽研究(一)/8連歌・俳諧研究/7連歌研究

■A5版/上製本貼函入/各巻平均四八〇頁/定価四、〇〇〇円/六、六〇〇円

広瀬旭莊著作集

全12巻

幕末(天保四年~文久三年)三十一一年間に亘る日記「日間瑣事備忘」を中心に、詩文・隨筆・書簡まで全て網羅した文人旭莊の全集。

■B5判/影印版、解説・活版/定価(各)約一四、〇〇〇円

呉秀三

その生涯と業績

岡田靖雄著

■A5版/四九六頁/定価一四、〇〇〇円

呉秀三著作集

全2巻

岡田靖雄編集・解説 第一巻 医史学篇/第二巻 精神病学篇

日本精神神経学会を創立し、また日本医史学会初代理事長として広範な医史学領域での研究活動を残した呉秀三の全生涯とその業績を網羅。

■A5版/各巻平均四五〇頁/上製本/定価1巻一四、〇〇〇円 2巻一五、〇〇〇円

中国戯曲善本三種

断髮記 北西廂記 稿符記

神田喜一郎監修/岩城秀夫解説

■A5版/六〇〇頁/貼函入/定価一三、八〇〇円

村田正志著作集

全7巻 58年1月より刊行予定

名著「南北朝史論」をはじめ、中世史研究の第一人者、また古文書学者としても著名な村田博士の業績の全容を集大成。

■A5版/各巻平均四四〇頁/上製本函入/定価(各)平均八、〇〇〇円

思文閣出版

最新刊